

教科	国語	履修学年	2	教科書 (出版社)	探求 論理国語(桐原書店) 文学国語(筑摩書房)
科目	現代文 I	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	新版 品詞別頻出漢字マスター3000(尚文出版) 読解を深める現代文単語評論・小説 改訂版(桐原書店) 三訂版プログレス現代文総演習標準編(いっずな書店) こころ(筑摩書房) リテラ 速読レッスン 論理vol. 2(文英堂) 新訂版 最新国語便覧(浜島書店)
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての時間を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度や、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p>	<p>生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。</p>	<p>「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。</p>	<p>言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。</p>

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準			時期 考查
		知	思	主	
小説(一) ・山月記(中島敦)	<ul style="list-style-type: none"> 小説の読み方を習得する。 漢文体が持つ独特のリズムを味わいながら、場面の展開と登場人物の心理の変化を的確に捉える。 作者が描こうとしたテーマについて考え、小説を自分自身の問題に引きつけて読む姿勢を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文体の特徴や修辞などさまざまな表現の技法について、体系的に理解し効果的に使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開、表現の仕方などについて吟味し、文章全体の特徴を正確に把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている 言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。 	4 ～ 5月 一学期 中間 考查
論文を読む ・変身に伴う快樂と恐れ —「山月記」を通じて (宮原浩二郎)	<ul style="list-style-type: none"> 論文の基本的な読み方を習得する。 論理の展開を捉え、変身についての筆者の考えを把握する。 論文の内容を契機として、「山月記」の読解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 論理の展開に沿って筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。 引用された小説の内容に関心を持ち、調べたり読んだりしている。 	

<p>評論Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チンパンジーは「おせっかい」をしない(長谷川眞理子) ・いのちは誰のものか?(鷲田清一) 	<ul style="list-style-type: none"> ・論理展開が明快な文章を読んで、評論の基本的な読み方を習得する。 ・「共感」「ともに生きる」という視点から人間の存在についての思索を深める。 	知	<ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 ・効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、積極的に活用している。 	5 ～ 7 月	一 学 期 期 末 考 査
		思	<ul style="list-style-type: none"> ・評論という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 		
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に参加し、自分の考えを深めるとともに、考察したことを的確にまとめようとしている。 		
<p>評論解析A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学と市民(池内了) ・集落の創造(藤井明) ・「もどかしさ」の融合(佐々木幸綱) ・可能性としての貨幣(西部忠) 	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・本文中の対比関係、具体例、指示表現や接続表現、論理構造等に注目して文脈を捉え、論旨や筆者の主要な見解、その根拠をつかむ。 	知	<ul style="list-style-type: none"> ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、正しく活用している。 	9 ～ 1 0 月	二 学 期 中 間 考 査
		思	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 		
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・論理の展開に沿って筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。 		
<p>評論Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物の信号と人間の言語(大庭健) ・行動としての話し言葉(竹内敏晴) 	<ul style="list-style-type: none"> ・二項対立による比較対照に着目し、評論の読み方を習得する。 ・「言語」の働きについて考え、自らが豊かな「言語」の使い手となる意識を持つ。 ・行動としての話し言葉という意味を捉え、自分自身の話し言葉を充実させる。 	知	<ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 ・効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、積極的に活用している。 	9 ～ 1 0 月	二 学 期 中 間 考 査
		思	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 		
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容を踏まえ、自分の考えを深めるとともに、自分で考えたことを的確にまとめようとしている。 		
<p>評論Ⅲ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イスラム感覚(藤原新也) ・木を伐る人/植える人(赤坂憲雄) 	<ul style="list-style-type: none"> ・二項対立による比較対照に着目し、評論の読み方を習得する。 ・接続表現から文脈を捉え、論理展開を把握する。 ・論理構造を読み解き、話題に対する筆者の見解やその根拠をつかむ。 	知	<ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 ・効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、積極的に活用している。 	1 0 ～ 1 2 月	二 学 期 期 末 考 査
		思	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 		
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・本文内容の正しい理解を踏まえて、筆者の主要な見解をわかりやすくまとめようとしている。 		
<p>評論Ⅳ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術も科学も「別世界」を見せる(岡田暁生) ・ロボットは心を持つか(黒崎政男) 	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方を習得する。 ・本文中の対比関係に注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。 	知	<ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 	1 0 ～ 1 2 月	二 学 期 期 末 考 査
		思	<ul style="list-style-type: none"> ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して、内容を正しく解釈し、考察している。 		
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・本文内容の正しい理解を踏まえて、自分の考えを深めるとともに、考えたことを的確にまとめようとしている。 		
<p>評論Ⅴ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暴力はどこからきたか(山際寿一) 	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方を習得する。 ・筆者の主張を読み取り、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。 	知	<ul style="list-style-type: none"> ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 ・効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、積極的に活用している。 	1 0 ～ 1 2 月	二 学 期 期 末 考 査
		思	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 		
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を踏まえて、自分の考えを深めるとともに、考えたことを的確にまとめようとしている。 		

<p>小説(二)</p> <p>・ ころ(夏目漱石)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小説の読み方を習得する。 ・ まとまった分量のある小説を読み、場面の展開や登場人物の心理の変化を捉える力を養う。 ・ 主題の把握を通して、人の心の不可思議さについて考えを深める。 	知	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを十分に理解している。 ・ 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について十分に理解を深めている。 	<p>1 月 3 月</p> <p>学 年 末 考 査</p>
		思	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ころ」の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察を深めている。 ・ 「ころ」の内容や解釈を適切に踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を十分に深めている。 	
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の内容を踏まえて、自分の考えを深めるとともに、考えたことを的確にまとめようとしている。 	
<p>論文を読む</p> <p>・ 淋しい人間―「ころ」を通じて(山崎正和)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 論文の基本的な読み方を習得する。 ・ 論理の展開を捉え、「ころ」における「先生」の淋しさの本質について理解する。 ・ 論文の内容を契機として、「ころ」の読解を深める。 	知	<ul style="list-style-type: none"> ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で正しく活用している。 	
		思	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 	
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・ 論理の展開に沿って筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。 ・ 引用された小説の内容に関心を持ち、調べたり読んだりしている。 	
<p>評論V</p> <p>・ 「である」ことと「する」こと(丸山真男)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評論の読み方を習得する。 ・ 長文の評論を読み、二項対立を基本とした論構成を理解する。 ・ 日本の近代化の特質とその問題点を論じた内容を、現代の課題として捉え直す。 	知	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、正しく活用している。 ・ 効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 	
		思	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 ・ 政治や文化における「である」価値と「する」価値について、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 	
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の内容を踏まえて、自分の考えを深めるとともに、考えたことを的確にまとめようとしている。 	

教科	国語	履修学年	2	教科書 (出版社)	高等学校 古典探究(数研出版)
科目	古典探究	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	三訂版 古文単語330(いっぴな書店) 九訂版 体系古典文法(数研出版) 文章で理解する助動詞マスターワーク(数研出版) 古典文法習得のための敬語マスターノート(数研出版) 体系漢文三訂版(数研出版) 体系漢文法演習(数研出版) 新訂版 最新国語便覧(浜島書店)
単位数	3				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2)生涯にわたる社会生活にえける他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 (3)言葉がもつ価値への認識を高めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての時間をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで古典に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準			時期	
		知	思	主	考查	
説話 ・大江山(十訓抄) ・兼盛と忠見(沙石集)	古典の世界に親しむために、古文を読むために必要な文語のきまり、古文特有の表現などについて理解を深めるとともに、的確に内容をとらえ、文章を評価することを通して、考えを深める。	知 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。	思 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	主 積極的に説話が示す教訓性や登場人物の歌にかける情熱について考察し、学習課題に沿ってものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を解釈しようとしている。	4 ～ 5月	一学期中間 考查
故事 ・買履忘度(韓非子) ・華歆・王朗(世説新語) ・江南橋為江北枳(説苑)	古典の世界に親しむために、漢文を読むために必要な漢文のきまり、漢文特有の表現などについて理解を深めるとともに、的確に内容をとらえ、文章を評価することを通して、考えを深める。	知 古典を読むために必要な漢文訓読や文語のきまりについて理解を深めている。	思 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	主 積極的に文章を多面的・多角的な視点から考察し、学習課題に沿ってものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を解釈しようとしている。	5 ～ 7月	一学期期末 考查
歌物語 ・通ひ路の関守(伊勢物語) ・渚の院(伊勢物語)	古典の世界に親しむために、古文を読むために必要な文語のきまり、和歌の修辞法など古文特有の表現などについて理解を深めるとともに、的確に内容をとらえ、文章を評価することを通して、考えを深める。	知 古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。	思 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら内容を的確に捉え、解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。	主 積極的に文章や和歌を多面的・多角的な視点から考察し、今までの学習を生かして学習課題に沿ってものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を解釈しようとしている。	5 ～ 7月	一学期期末 考查

随筆 ・大納言殿参り給ひて(枕草子) ・あだし野の露(徒然草) ・九月二十日のころ(徒然草)	古典の世界に親しむために、古文を読むために必要な文語のきまり、古文特有の表現などについて理解を深めるとともに、的確に内容をとらえ、文章を評価することを通して、考えを深める。	知	古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。	5 ~ 7月	一学期期末 考查
		思	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉え、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。		
		主	登場人物の様子や心情を捉え、積極的に文章を多面的・多角的な視点から考察し、今までの学習を生かして学習課題に沿ったものの見方、感じ方、考え方を深め、主体性をもって作品内容を解釈しようとしている。		
史伝 ・鴻門之会(史記) 剣舞 頭髮上指す	古典の世界に親しむために、漢文を読むために必要な漢文のきまり、漢文特有の表現などについて理解を深めるとともに、的確に内容をとらえ、文章を評価することを通して、考えを深める。	知	古典を読むために必要な漢文訓読や文語のきまりについて理解を深めている。	9 ~ 10月	二学期中間 考查
		思	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉え、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。		
		主	本文から読み取った人物像を踏まえて積極的に文章を多面的・多角的な視点から考察し、学習課題に沿ったものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を解釈しようとしている。		
源氏物語 ・光源氏誕生 ・藤壺の入内	古典の世界に親しむために、古文を読むために必要な文語のきまり、古文特有の表現などについて理解を深めるとともに、的確に内容をとらえ、文章を評価することを通して、考えを深める。	知	古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。	10月 ~ 12月	二学期期末 考查
		思	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉え、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。		
		主	積極的に登場人物の行動や心情を捉え、文章を多面的・多角的な視点から考察し、学習課題に沿ったものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を解釈しようとしている。		
日記文学 ・東路の道の果て(更級日記) ・物語(更級日記)	古典の世界に親しむために、古文を読むために必要な文語のきまり、古文特有の表現などについて理解を深めるとともに、的確に内容をとらえ、文章を評価することを通して、考えを深める。	知	古典を読むために必要な漢文訓読や文語のきまりについて理解を深めている。	10月 ~ 12月	二学期期末 考查
		思	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉え、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。		
		主	積極的に作者の心情を捉え、文章を多面的・多角的な視点から考察し、学習課題に沿ったものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を解釈しようとしている。		
史伝 ・項王自刎(史記)	古典の世界に親しむために、漢文を読むために必要な漢文のきまり、漢文特有の表現などについて理解を深めるとともに、的確に内容をとらえ、文章を評価することを通して、考えを深める。	知	古典を読むために必要な漢文訓読や文語のきまりについて理解を深めている。	10月 ~ 12月	二学期期末 考查
		思	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉え、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。		
		主	本文から読み取った人物像を踏まえて積極的に文章を多面的・多角的な視点から考察し、学習課題に沿ったものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を解釈しようとしている。		

歴史物語 ・花山天皇の出家(大鏡) ・三船の才(大鏡) ・道長の豪胆(大鏡)	古典の世界に親しむために、古文を読むために必要な文語のきまり、古文特有の表現などについて理解を深めるとともに、的確に内容をとらえ、文章を評価することを通して、考えを深める。	知	古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。	1 3 月 学 年 末 考 査
		思	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉え、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。	
		主	積極的に投げよう人物や語り手の心情を捉え、文章を多面的・多角的な視点から考察し、学習課題に沿ってものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を解釈しようとしている。	
思想 ・道徳斉礼(論語) ・性善(孟子) ・性悪(荀子) ・無為之治(老子) ・曳尾於塗中(莊子) ・侵官之害(韓非子)	古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解するとともに、他の作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる	知	先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、古典を読むために必要な漢文訓読や文語のきまりについて理解を深めている。	
		思	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉え、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。	
		主	諸子百家の文章を積極的に多面的・多角的な視点から考察し、学習課題に沿ってものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を解釈しようとしている。	

教科	地理歴史科	履修学年	2	教科書 (出版社)	『詳説日本史 日本史探究』 (山川出版社)
科目	日本史探究	必修 または 選択	必修	副教材 など	『新詳日本史』 (浜島書店) 『日本史用語集』 (山川出版社) 『ゼミナール日本史』 (浜島書店) 『詳録日本史史料集成』 (第一学習社)
単位数	2		必修選択 自由選択		

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

<p>現在の「日本」の国のありかたは、第二次世界大戦や明治以降に突然できたものではありません。長い年月の中で積み上げられてきた遺産を基礎にして現在の「日本」は成り立っています。「日本史」を学ぶということは、私たちの住む「日本という社会」の文化と伝統を学習すると同時に、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養うことであり、それは『『日本』とはなにか』『私は何者なのか』ということを問うことなのです。</p> <p>以上の問題意識を前提として、第2学年では原始・古代・中世を中心として学習します。</p>	<p>知識及び技能</p> <p>日本史学習では、語句(人名・事件など)をただ丸暗記しても、歴史そのものを理解することはできません。「何が原因なのか」「どんな影響を及ぼすのか」「どんな意味があるのか」を常に考えましょう。</p>	<p>思考力・判断力・表現力等</p> <p>日本史学習で大事なことは、暗記ではありません。歴史の流れと歴史事象の因果関係を理解することです。そこで、一つの事件についてその背景や内容、与えた影響などを文章にしてみようような作業を取り入れます。</p>	<p>主体的に取り組む態度</p> <p>必ず復習をするように心がけてください。その際、授業で取り組んだ課題について自分でもう一度考えるとともに、問題練習をすることや、復習を繰り返し実施することが知識を定着させる上で大切なことです。</p>
--	---	--	---

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準		時期 考査	
		知	思	1	学期
第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳とヤマト政権	黎明期から律令国家の成立過程について理解し、考察内容を表現できる力を身に付ける。 ①文化の始まり ②農耕社会の成立	知	旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解する。 原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治社会や文化の特色を理解する。	1	学期
		思	自然環境と人間の生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジアおよび太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多角的・多面的に考察し、表現する。 中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察する。	中 間	考 査
		主	原始から古代の政治、社会、経済、文化について、知識理解や技能を身に付ける活動や、思考・判断・表現を身に付ける学習活動について、主体的に取り組んでいる。		

第3章 律令国家の形成	律令国家が成立するまでの過程、律令国家の完成期における政治・経済・外交・文化等の各分野を理解し、考察する。 ① 律令国家への道 ② 平城京の時代 ③ 律令国家の文化 ④ 律令国家の変容	知	貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解する。	1	学期
		思	権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から古代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。		
		主	古代の律令国家の変容期の政治、社会、経済、文化について、知識理解や技能を身に付ける活動や、思考・判断・表現を身に付ける学習活動について、主体的に取り組んでいる。	期 末	考 査

第4章 貴族政治の展開	<p>摂関政治の成立過程と政治運営について考察するとともに、地方の実態(武士勢力の発生)も把握し、理解する。</p> <p>① 摂関政治 ② 国風文化 ③ 地方政治の展開と武士</p>	知	藤原北家が権力を掌握していく過程を理解する。また、遣唐使廃止に伴う日本独自の文化について理解する。地方の政治状況についても、確認する。	2	学期
		思	社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。		
		主	古代から中世に至るまでの政治、社会、経済、文化について、知識理解や技能を身に付ける活動や、思考・判断・表現を身に付ける学習活動について、主体的に取り組んでいる。	中間	考查
第5章 院政と武士の躍進	<p>院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。また、平氏政権の特性についても考察し、古代から中世への変化を通観する。</p> <p>① 院政の始まり ② 院政と平氏政権</p>	知	貴族政治や土地制度の変容等をもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家、社会の変容を理解する。	2	学期
		思	武家政権の権力基盤となる土地所有に関する事項について、諸資料から考察する。		
		主	古代と中世の政治、社会、経済、文化について、比較検討しつつ、知識理解や技能を身に付ける活動や、思考・判断・表現を身に付ける学習活動について、主体的に取り組んでいる。	期末	考查
第6章 武家政権の成立	<p>鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。また、鎌倉時代における公武二元体制について考察する。</p> <p>① 鎌倉幕府の成立 ② 武士の社会</p>	知	源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立について理解する。	3	学期
		思	武士と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、諸資料を読み解きながら、その根拠を考察する。		
		主	鎌倉時代を通じた武家支配の特質について、知識理解や技能を身に付ける活動や、思考・判断・表現を身に付ける学習活動について、主体的に取り組んでいる。	学年末	考查

教科	社会	履修学年	2年	教科書 (出版社)	詳説世界史 (山川出版)
科目	世界史探究 α	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	ニューステージ 世界史詳覧 詳説世界史 10分間テスト 世界史用語集
単位数	2単位				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さを深める。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準	時期	
			1	2
第1章 文明の成立と古代文明の特質 1 文明の誕生	①自然環境の変化と農耕・牧畜の開始との関係について考察し、文明誕生の基礎について理解する。 ②おもな古代文明の立地について考察し、文明が生まれるために必要だった条件を理解する。	知 都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。	1	学期
		思 壁画や粘土板などの資料をもとに、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し表現している。	中間	考查
		主 文明の誕生について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		
第1章 文明の成立と古代文明の特質 2 古代オリエント文明とその周辺	①オリエントの風土と、その文明の歴史的特質の関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ②メソポタミア文明が今日に残した文化的遺産を理解する。 ③オリエントで多くの民族が興亡を繰り返した背景を理解する。	知 オリエントの大半が乾燥地帯であること、そのなかで大河流域のメソポタミアとエジプトで灌漑農業をもとにいち早く文明化したことを理解している。	1	学期
		思 ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資料をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。	中間	考查
		主 オリエント文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		
第1章 文明の成立と古代文明の特質 3 南アジアの古代文明	①南アジアの多様性を生み出した地理的環境について理解する。 ②南アジア最古の文明であるインダス文明が栄えた場所の特徴を理解する。 ③アーリヤ人の進入が南アジアにもたらした変化について多面的・多角的に考察し表現する。	知 南アジアが南北に大きく二分されること、それぞれの風土に適合した生活が古くから営まれていたことを理解している。	1	学期
		思 ヴァルナ制やジャーティ集団の成立をもとに、アーリヤ人社会に富や地位の差が生まれていった背景や原因を考察し表現している。	中間	考查
		主 南アジアの古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		
第1章 文明の成立と古代文明の特質 4 中国の古代文明	①中国の風土と、その文明の歴史的特質の関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ②殷と周、春秋時代と戦国時代の支配形態を比較し、共通点と相違点を理解する。	知 東アジア各地の風土が、それぞれの地で多様な生業とそれに基づく先史文化を生み出したこと、各地で人々の移動や交流がおこなわれたことを理解している。	1	学期
		思 青銅器や獣骨など考古学的資料や『春秋左氏伝』などの資料をもとに、当時の政治や支配のあり方を多面的・多角的に考察し表現している。	期末	考查
		主 中国の古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		

第1章 文明の成立と古代文明の特質 5 南北アメリカ文明	①北米と中南米の先住民社会を比較し、共通点と相違点を理解する。 ②中南米にさまざまな先住民文明が栄えたことを理解し、そこでの支配の在り方を多面的・多角的に考察し表現する。	知	南北に長く広がるアメリカ大陸の各地で、それぞれの地域の環境に適応した文化・文明が発展したことを理解している。	1 期末	学期 考查
		思	南北アメリカ文明に共通する特徴、とくにユーラシアやアフリカの古代文明とは異なるものを多面的・多角的に考察し表現している。		
		主	南北アメリカ文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		
第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 1 中央ユーラシア—草原とオアシスの世界	①騎馬遊牧民が強大な国家を築くことができた理由を多面的・多角的に考察し表現している。 ②遊牧国家の興亡がユーラシア大陸の東西にもたらした変動を理解する。	知	中央ユーラシアの厳しい環境に適応した遊牧民やオアシス民の生活のありさまや、彼らの周辺の諸勢力との関係を理解している。	1 期末	学期 考查
		思	風土を示す写真や『史記』匈奴列伝などの資料をもとに、中央ユーラシアの人々の動向が、世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。		
		主	中央ユーラシアの動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		
第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 2 秦・漢帝国	①新たに現れた「皇帝」の特質について、それまでの「王」と比較しながら理解する。 ②漢の支配体制の変遷を理解する。 ③統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。	知	秦・漢といった統一国家の支配体制について、それまでの春秋・戦国時代と比較したうえで理解している。	1 期末	学期 考查
		思	兵馬俑や青銅貨幣など考古学的資料や『塩鉄論』禁耕などの資料をもとに、秦・漢の時代に生じた地域間の結びつきの変化や、統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。		
		主	秦・漢帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		
第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 3 中国の動乱と変容	①遊牧民族の動きと魏晋南北朝の動乱との関係について理解する。 ②魏晋南北朝時代の中国の情勢が、朝鮮や日本に与えた影響について理解する。	知	魏晋南北朝の動乱がどのように展開したのかについて、遊牧民族との関わりもふまえたうえで理解している。	2 中間	学期 考查
		思	「女史箴図」などの図像資料や『顔氏家訓』などの資料をもとに、魏晋南北朝時代の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。		
		主	魏晋南北朝の動乱について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		
第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 4 東アジア文化圏の形成	①唐の勢力圏の広がりや唐代初期の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 ②唐制度や文化が近隣諸国に与えた影響について理解する。 ③安史の乱前後の唐の制度や社会の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ④突厥・ウイグルやソグド人の中央ユーラシアや東アジアにおける役割について理解する。	知	隋・唐の社会や制度、支配体制について、それまでの時代や他の地域との違いや、時期ごとの変化をふまえたうえで理解している。	2 中間	学期 考查
		思	壁画などの図像資料や『旧唐書』輿服志などの資料をもとに、隋・唐の社会の特徴や近隣諸国への影響を多面的・多角的に考察し表現している。		
		主	東アジア文化圏の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		
第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 1 仏教の成立と南アジアの統一国家	①南アジア最初の統一王朝であるマウリヤ朝のもとの仏教の発展について理解する。 ②クシャーナ朝と周辺諸地域との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ③「海の道」の交易における南インドの役割を多面的・多角的に考察し表現する。	知	南アジアで生まれたさまざまな宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解している。	2 期末	学期 考查
		思	インド洋航海図（地図）や『エリュトラー海案内記』などの資料をもとに、インド洋交易の広がりを多面的・多角的に考察し表現している。		
		主	南アジアで生まれた諸宗教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		

第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着	①グプタ朝における宗教や文化の展開を理解する。 ②8～10世紀の諸勢力が割拠した時代における各地の政権の政策を理解する。 ③ヒンドゥー教が南アジアの社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現する。	知	インド古典文化の黄金期とされるグプタ朝において、文化がどのように展開したのかを理解している。	2	学期
		思	それまで仏教やジャイナ教が盛んだったことをふまえたうえで、ヒンドゥー教が社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現している。	期末	考查
		主	インド古典文化とヒンドゥー教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		
第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 1 イラン諸国家の興亡とイラン文明	①アケメネス朝が広大な領域に中央集権の支配を築ことができた背景や要因を理解している。 ②パルティアとササン朝の繁栄の背景や要因を理解する。 ③パルティアとササン朝が東西の文明の間で担った役割を多面的・多角的に考察し表現する。	知	アケメネス朝、パルティア、ササン朝といったイラン諸国家がそれぞれどのように興亡したのかを理解している。	2	学期
		思	ササン朝と法隆寺の「獅子狩」図案などの資料をもとに、イラン文明が世界の諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。	期末	考查
		主	イラン文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		
第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 2 ギリシア人の都市国家	①ポリスの特徴およびその民主政発達の経緯および現代の民主主義との相違点について理解する。 ②ヘレニズム時代の歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現する。	知	アテネにおいてどのような経緯で民主政が出現したのか、またギリシア文化にはどのような特徴があるのかを理解している。	3	学期
		思	オストラコンなどの考古学的資料や「ペリクレスの演説」などの資料をもとに、ギリシアの人の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。	期末	考查
		主	古代ギリシアについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		
第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 3 ローマと地中海支配	①ローマ共和政の特徴や地中海における領土拡大がローマ共和政に与えた影響を理解する。 ②ローマ帝国が危機を迎えた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ③ローマ帝国の文化的意義を多面的・多角的に考察し表現する。 ④キリスト教の成立の経緯を理解している。	知	ローマがどのような経緯で都市国家から帝国にいたったのか、またローマ人の文化にはどのような特徴があるのかを理解している。	3	学期
		思	モザイク画などの図像資料や「神皇アウグストゥス業績録」などの資料をもとに、ローマが地中海世界を統一し、それを維持できた理由を多面的・多角的に考察し表現している。	期末	考查
		主	古代ローマについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		
第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 1 ヨーロッパ世界の形成	①民族大移動の経緯やビザンツ帝国の繁栄について、同時期の西ヨーロッパと比較したうえで理解する。 ②ローマ教会によるカールの戴冠が世界の歴史において持つ意義について理解する。 ③ノルマン人が西ヨーロッパ世界において果たした歴史的役割について理解する。 ④西ヨーロッパに特有の封建社会の仕組みについて理解する。	知	西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。	3	学期
		思	荘園の構造を示す概念図や『ガルベール＝ド＝ブリュージュの日記』などの資料をもとに、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。	期末	考查
		主	ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		

教科	公民	履修学年	2	教科書 (出版社)	詳述 公共 (実教出版)
科目	公共	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	2024ズームアップ公共資料 (実教出版)
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
「社会的な見方・考え方」を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有意な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。	考察・選択・判断のための手がかりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を育成する。	社会の諸課題の解決に向け、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力、合意形成や社会参画を視野に入れ議論する力を育成する。	各国各国民が相互に主権を尊重し、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を育成する。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準	時期 考査	
			4 5月	5 7月
第1編 公共の扉 ○社会をつくる私たち ○人間としてよく生きる	人間は個人として尊重されるべき存在であるとともに対話を通して互いの様々な立場を理解し相互に高め合うことのできる社会的な存在であることを理解する。また、自らの価値観を形成する上で基礎となる事柄として、伝統や文化、先人の取り組みや知恵に触れる。集団の一員として生き、他者との協働により公共的空間を創る存在であることに気づかせる。	知 現代の諸課題に対する解決方法や自らの選択・判断の手がかりとして、個人や社会全体の「幸福」を重視する考え方や行為の動機となる「公正」「正義」の考え方について理解している。 思 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく集団の一員として生き、他者との協働により公共的な空間をつくる存在であることについて、多面的・多角的に考察し表現している。 主 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としての在り方生き方や社会に参画する自立した主体としての自覚を深めようとしている。	4 5月	第1学期 中間考査
○社会とは何か ○民主国家における基本原理	人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利、責任と義務、民主主義、法の支配などに関する考え方や法・制度などの仕組みを学習し、公共的な空間における基本原理について理解させる。思考実験や具体的な事例などを通して概念的な枠組みや原理の背景にある考え方について考察させる。	知 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間をつくる上で必要であることを理解している。 思 公共的な空間における基本原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会の関わりを多面的・多角的に考察し表現している。 主 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、人間の尊厳と平等、個人の尊重といった公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	5 7月	第1学期 期末考査

<p>第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち</p> <p>○日本国憲法の基本的性格</p> <p>○日本の政治機構と政治参加</p> <p>○現代の経済社会</p>	<p>法規範の役割、政治・司法参加の意義、地方自治、市場経済、雇用と労働問題、財政・金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題について学習する。それらを踏まえ、各人の意見や利害を公平・公正に調整し権利や自由の保障、公正かつ自由な経済活動を通じた資源の効率的配分などの実現に向けて、協働的に考察し論拠をもって表現させる。</p>	<p>知 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報等について、適切かつ効果的に収集し、読み取りまとめる技能を身につけている。</p> <p>思 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察し論拠をもって表現している。</p> <p>主 よりよい社会の実現を視野に、政治・司法・地方自治・市場経済・財政・金融など、現実社会の事柄や現代の諸課題について主体的に解決しようとしている。</p>	<p>9 10月</p>	<p>第2学期 中間 考查</p>
<p>○経済活動のあり方と国民福祉</p> <p>○国際政治の動向と課題</p> <p>○国際経済の動向と課題</p>	<p>国家主権、領土、安全保障、国際貢献の在り方、経済のグローバル化、各国の経済政策と相互依存関係、貧困格差など、国際社会における事象や諸課題について学習する。それらを踏まえ、国際社会における我が国の役割について理解させ、課題解決に向けて、協働的に考察し論拠をもって表現させる。</p>	<p>知 国際政治・国際経済の諸課題に関する事柄が理解できている。また諸資料から自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取りまとめる技能を身につけている。</p> <p>思 国際政治・国際経済において、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れ、主題となる課題解決に向けて協働して考察し、論拠をもって表現している。</p> <p>主 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国際社会における我が国の役割や経済のグローバル化と相互依存関係など現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>10 12月</p>	<p>第2学期 期末 考查</p>
<p>第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p>	<p>本科目のまとめとして位置づけ、社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、これまでに身につけた選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的空間における基本的原理の活用とともに現実社会の諸課題に対する関心を一層高めさせる。個人を起点として自立・協働の観点から、多様性を尊重し、合意形成や社会参画を視野に入れながら探究させる。</p>	<p>知 自ら選択した現実社会の諸課題について、必要な情報を収集し読み取り分析するなど、これまでに習得した知識および技能を活用して課題解決に必要な考え方を理解している。</p> <p>思 地域の創造、よりよい国家・社会の構築、国際社会の形成へ主体的に参画し、諸課題の解決に向けて協働的に考察したり、妥当性や効果、実現可能性を指標にしたり論拠をもって表現している</p> <p>主 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、ともに生きる社会を築くという観点から、それぞれが選択した現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>1 3月</p>	<p>学年 末 考查</p>

教科	数学	履修学年	2	教科書 (出版社)	高等学校 数学Ⅱ (数研出版)
科目	数学Ⅱ	必修 または 選択	必修	副教材 など	教科書傍用 4プロセス 数学Ⅱ+B、数学C (数研出版) チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B、数学C (数研出版) ナビゲーションノート複素数平面・式と曲線 (数研出版)
単位数	4		必修選択 自由選択		

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

<p>いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。</p>	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	<p>いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p>	<p>数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準	時期 考查	
			1	中間
第2章 複素数と方程式 第2節 高次方程式 4. 剰余の定理と因数定理 (2) 5. 高次方程式 (1.5) 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域	<ul style="list-style-type: none"> 剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。 座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 	知 <ul style="list-style-type: none"> 剰余の定理を利用して、多項式を1次式や2次式で割ったときの余りを求めることができる。 因数分解や因数定理を利用して、高次方程式を解くことができる。 2つの円の位置関係を、中心間の距離と半径の関係から調べることができる。 点が満たす条件から得られた方程式を、図形として考察することができる。 不等式の表す領域を図示することができる。 	1	学期
		思 <ul style="list-style-type: none"> 多項式を1次式で割ったときの余りについて、剰余の定理で考察することができる。 図形の性質を証明する際に、計算が簡単になるように座標軸を適切に設定できる。 図形的条件(線対称など)を式で表現できる。 円の方程式が x, y の2次方程式で表されることを理解している。 平面上の点の軌跡を、座標平面を利用して考察することができる。 不等式の満たす解を、座標平面上の点の集合としてみるることができる。 	中間	考查

		主	<ul style="list-style-type: none"> ・多項式を1次式で割る計算に、組立除法を積極的に利用する。 ・ある点を通り与えられた直線に平行な直線、垂直な直線の方程式を公式化し、利用しようとする。 ・円と直線の位置関係を、2次方程式の判別式や、円の中心から直線までの距離と円の半径の大小関係により調べようとする。 ・点が満たす条件から得られた方程式がどのような図形を表しているかを考察しようとする。 		
第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。 加法定理を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	知	<ul style="list-style-type: none"> ・角度の表し方に度数法と弧度法があることを理解している。 ・弧度法で表された角の三角関数の値を、三角関数の定義によって求めることができる。 ・いろいろな三角関数のグラフのかき方と周期の求め方を理解している。 ・$-1 \leq \sin \theta \leq 1$ などに注意して、おき換えによって三角関数を含む関数の最大値・最小値を考察できる。 ・加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求めることができる。 ・2倍角、半角の公式などを利用して、三角関数の値を求めたり、等式を証明したりすることができる。 	1	学期
		思	<ul style="list-style-type: none"> ・弧の長さで角を図る方法として、弧度法を考察することができる。 ・三角関数の性質を、単位円を用いて考察することができる。 ・2倍角の公式を利用して、三角関数を含むやや複雑な方程式、不等式の角を統一して考えることができる。 	期末	考查
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・周期関数に興味をもち、その性質を調べようとする。 ・やや複雑な三角関数を含む関数の最大値・最小値を求めることに取り組む意欲がある。 ・同じ周期をもつ2つの関数 $y = \sin x$ と $y = \cos x$ を合成するとそのグラフは位相がずれた正弦曲線になることに興味・関心をもつ。 		
第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	指数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	知	<ul style="list-style-type: none"> ・指数が有理数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を利用した計算をすることができる。また、累乗根を含む計算では、分数指数を利用して計算することができる。 ・指数関数のグラフの概形、特徴を理解している。 ・指数と対数とを相互に書き換えることができる。 ・対数関数のグラフの概形、特徴を理解している。 ・正の数を $a \times 10^n$ の形に表現して、対数の値を求めることができる。 	2	学期
		思	<ul style="list-style-type: none"> ・指数法則が成り立つように、指数の範囲を正の整数から実数にまで拡張していることを理解している。 ・指数関数の増減によって、大小関係や不等式・方程式を考察することができる。 ・対数 $\log_a M$ が $M = a^p$ を満たす指数 p を表していることを理解している。 ・n桁の数、小数首位第 n 位の数を、不等式で表現することができる。 	中間	考查

		主	<ul style="list-style-type: none"> 累乗根の性質に興味を示し、具体的に証明しようとする。 指数関数のグラフの概形を、点をプロットしてかこうとする意欲がある。 指数と対数との相互関係に興味・関心をもつ。 やや複雑な対数方程式、対数不等式に積極的に取り組もうとする。 桁数や小数首位の問題を一般的に考察しようとする。 		
第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	微分係数や導関数の意味について理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	知	<ul style="list-style-type: none"> 平均変化率、微分係数の定義を理解し、それらを求めることができる。 導関数の性質を利用して、種々の導関数の計算ができる。 接線の方程式の公式を利用して、接線の方程式を求めることができる。 関数の増減や極値を調べるのに、増減表を書いて考察している。 導関数を利用して、方程式の実数解の個数問題、不等式の証明問題を解くことができる。 不定積分の定義や性質を理解し、それを利用する不定積分の計算方法を理解している。 上端が変数 x である定積分で表された関数を微分して処理することができる。 直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。 	2	学期
		思	<ul style="list-style-type: none"> 最大値・最小値と極大値・極小値の違いを、意識して考察できる。 面積を求める際には、グラフの上下関係、積分範囲などを、図をかくて考察している。 		
		主	<ul style="list-style-type: none"> 接線の傾きと微分係数との関連を図形的に考察しようとする。 方程式や不等式を関数的視点で捉え、微分法を利用して解決しようとする。 面積 $S(x)$ が関数 $f(x)$ の原始関数の1つであることに興味・関心をもち、考察しようとする。 	期末	考查
発展的内容 第3章 複素数平面 第4章 式と曲線	平面上の曲線と複素数平面について、数学的活動を通して、その有用性を認識させるとともに、放物線、楕円、双曲線が二次式で表されること及びそれらの二次曲線の基本性質について理解できるようにする。	知	<ul style="list-style-type: none"> 放物線、楕円、双曲線が二次式で表されること及びそれらの二次曲線の基本性質について理解している。 曲線の媒介変数表示について理解している。 極座標の意味及び曲線の極方程式で表されることについて理解している。 複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積及び商の図形的な意味を理解している。 ド・モアブルの定理について理解している。 	3	学期
		思	<ul style="list-style-type: none"> 放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察することができる。 複素数平面における図形の移動などに関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を考察することができる。 		
		主	<ul style="list-style-type: none"> 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、媒介変数や極座標及び複素数平面の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察しようとする。 	学年末	考查

教科	数学	履修学年	2	教科書 (出版社)	高等学校 数学B (数研出版)
科目	数学B	必修 または 選択	必修	副教材 など	教科書傍用 4プロセス 数学Ⅱ+B、数学C (数研出版) チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B、数学C (数研出版) ナビゲーションノートベクトル (数研出版)
単位数	2		必修選択 自由選択		

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数値化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準	時期 考查	
			1	学期
第1章 数列 第2節 いろいろな数列	いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。	知 <ul style="list-style-type: none"> ・初項と漸化式から数列の一般項が求められる。 ・数学的帰納法を用いて等式、不等式、自然数に関する命題を証明できる。 思 <ul style="list-style-type: none"> ・複雑な漸化式を、おき換えなどを用いて既知の漸化式に帰着して考えることができる。 ・自然数nに関する命題の証明には、数学的帰納法が有効であることを理解している。 主 <ul style="list-style-type: none"> ・おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。 ・数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。 	1	学期
発展的内容 第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形	向きと大きさをもつ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解し、成分表示も含めてベクトルの演算ができるようになる。また、ベクトルの内積について理解し、平面上のベクトルのなす角について考察できるようにする。 位置ベクトルについて理解し、位置ベクトルを図形の性質を調べるのに活用できるようにする。また、図形をベクトルを用いて表せることを理解し、基本的な図形のベクトル方程式を求めたり、ベクトル方程式が表す図形を求めたりできるようにする。	知 <ul style="list-style-type: none"> ・有向線分を用いたベクトルの定義や表し方を理解している。 ・平面上のベクトルが2つのベクトルの線形和で1通りに表されることを理解し、具体的なベクトルを2つのベクトルで表すことができる。 ・ベクトルの成分表示の仕組みを理解し、具体的なベクトルを成分表示できる。また、そのベクトルの大きさを求めることができる。 ・成分表示された2つのベクトルのなす角を、内積を用いて求めることができる。 思 <ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの和、差、実数倍の定義をもとに、それらを組み合わせ合わせたベクトルの図示ができる。 ・内積の性質を用いて、等式を証明したり、ベクトルの大きさやなす角を求めたりすることができる。 ・位置ベクトルの一意性を活用して、線分の交点の位置ベクトルを求めることができる。 主 <ul style="list-style-type: none"> ・日常の量で、向きと大きさをもつものがあることに興味をもち、それをベクトルで表現しようとする。 ・ベクトルの内積の計算をする際、1つ1つの計算で用いている性質を意識し、正しく適用できているか確かめようとする。 	1	学期
			期末	考查

			する。		
第2章 空間のベクトル	大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができるようにする。	知	<ul style="list-style-type: none"> 空間のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解している。 空間のベクトルの内積及びその基本的な性質について理解している。 	2	学期
		思	<ul style="list-style-type: none"> 実数などの演算の法則と関連付けて、空間のベクトルの演算法則を考察することができる。 空間のベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形や空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察することができる。 	中間	考查
		主	<ul style="list-style-type: none"> 数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、空間のベクトルやその内積の考えを問題解決に活用しようとする。 		
第2章 統計的な推測 第1節 確率分布	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。また、連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	知	<ul style="list-style-type: none"> 確率変数や確率分布について用語の意味を理解している。 確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 同時分布の意味を理解し、2つの確率変数の同時分布を求めることができる。 複雑な確率分布の期待値を、確率変数の和の期待値の公式などを利用して求めることができる。 反復試行の結果を、二項分布を用いて表すことができる。 確率密度関数や分布曲線の定義を理解し、連続型確率変数について、確率を求めることができる。 二項分布に従う確率変数に関する確率の計算を、正規分布に従う確率変数で近似して求めることができる。 	2	学期
		思	<ul style="list-style-type: none"> 試行の結果を確率分布で表すことの意味がとらえられている。 確率変数の期待値、分散、標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。 正規分布の特徴を理解し、様々な視点からとらえることができる。 正規分布を活用して現実のデータについて考察することができる。 		
		主	<ul style="list-style-type: none"> 確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることによさに気づき確率分布について積極的に考察しようとする。 確率変数の期待値、分散に関する種々の公式を、その定義や既知の公式を用いて導こうとする。 二項分布に興味・関心をもち、さいころを投げるなどの具体的事項について考察しようとする。 現実のデータが正規分布に近い分布になることがあることに興味をもち、様々なデータについて考察しようとする。 	期末	考查
第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測	母集団と標本、標本平均について理解し、特に標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。また、母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにし、それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用しようとする態度を育てる。	知	<ul style="list-style-type: none"> 復元抽出と非復元抽出について理解している。 標本比率が二項分布に従う仕組みを理解し正規分布で近似することで標本比率についての確率を求めることができる。 信頼区間の考え方を用いて、母平均や母比率の推定ができる。 仮説検定の考え方を用いて、日常の身近な事象に対する主張を検定することができる。 	3	学期
		思	<ul style="list-style-type: none"> 母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。 大数の法則について理解し、標本の大きさ n が大きくなる時の標本平均の分布の変化の様子について考察できる。 仮説検定の考え方がわかる。 	学年末	考查

		主	<ul style="list-style-type: none">・ 現実に行われている様々な調査が全数調査か標本調査か、またその方法を採用しているのはなぜかに興味をもち、それぞれの調査の特徴を調べたり考えたりしようとする。・ 仮説検定によって様々な判断ができることに興味をもち、現実の問題の解決に役立てようとする。	
--	--	---	--	--

教科	理科	履修学年	2	教科書 (出版社)	物理 (数研出版)
科目	物理α	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	リードα (数研出版) セミナー物理基礎+物理 (第一学習社)
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

物理的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物理的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身につける。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができていますか。	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしているか。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準		時期 考査	
		知	思	主	主
第3編 波 第1章 波の伝わり方 1. 波と媒質の運動 2. 正弦波 3. 波の伝わり方	<ul style="list-style-type: none"> 波の独立性と重ね合わせの原理を理解する。 波長、振動数、周期、伝わる速さの意味と、それらの中に成り立つ関係性をきちんと理解する。 波の反射・屈折・回折・干渉などの現象について、関連する法則を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 波が伝わるようすを、グラフで表現することができる。 位相のずれや進行方向の違いなども考慮して、正弦波の式を正しく表すことができる。 定在波が生じるしくみを理解している。 水面波の干渉で強めあう点と弱めあう点の条件を理解している。 波の反射・屈折の際に、どのような法則があるかを理解している。 水面波が干渉するようすを確認できている。 水面波が壁で反射することを確認できている。また、水深が変わる境界面で屈折が起こることを確認できている。 水面波がすき間を通して回折するようすを確認できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 水面を伝わる波の発生条件について説明できる。 横波と縦波の違いについて説明できる。 正弦波の式に$x=0$, $t=2T$を代入した式について、それぞれが何を表す式かを説明することができる。 2つの波源から出た波が、強めあう条件と弱めあう条件を説明することができる。 海岸に向かってくる波の波面が海岸線に対して平行になる理由を説明することができる。 	1	学期
		<ul style="list-style-type: none"> 身近な波の現象に興味をもち、波の発生原理や基本事項について理解しようとしている。 正弦波を数式で表す方法について理解しようとしている。 波の干渉や反射、屈折、回折などの波の伝わり方に興味をもち、理解しようとしている。 水面波の干渉の実験や、水面波の反射と屈折の実験、水面波の回折の実験に主体的に取り組んでいる。 	中間・期末	考査	
		<ul style="list-style-type: none"> 音の3要素を物理的に理解する。 弦や気柱の固有振動のしくみを理解する。 共振のしくみを仕事とエネルギーの関係から理解する。 ドップラー効果のしくみを 	<ul style="list-style-type: none"> 音の干渉について、音が強めあう条件と弱めあう条件を理解している。 うなりについて、音の干渉の知識を用いて定量的に扱うことができる。 音が干渉して強めあったり、弱めあったりすることを確認できている。 ドップラー効果の式を用いて、観測者が聞く音の振動数 	2	学期

	理解する。		<ul style="list-style-type: none"> を求めることができる。 ・ブザーを投げる実験でドップラー効果を確認できている。 		
		思	<ul style="list-style-type: none"> ・音を伝える際、空気などの媒質が必要であることを説明できる。 ・冬の良く晴れた夜に遠くの音がよく聞こえる理由を説明することができる。 ・音源が特定の時間だけ音を出す場合のドップラー効果について、観測者が音を観測する時間を考えることができる。 ・運動している音源から出た音の波長が、音源の前方と後方でどのように変化するかを説明することができる。 ・観測者が動く場合（音源は静止）のドップラー効果がなぜ起きるか説明することができる。 ・ドップラー効果を利用した簡易スピード測定の原理について考えることができる。 ・音源が等速円運動をする場合のドップラー効果について、その周囲で音がどのように変化するかを考えることができる。 	中間	考查
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・音が関係する現象に興味をもち、音の性質と音の伝わり方について理解しようとしている。 ・音の干渉の実験に主体的に取り組んでいる。 ・身近な現象である音のドップラー効果に興味をもち、なぜそのような現象が起こるか理解しようとしている。 ・ドップラー効果の実験に主体的に取り組んでいる。 		

第3章 光 1. 光の性質 2. レンズと鏡 3. 光の干渉と回折	<ul style="list-style-type: none"> ・光速度測定の工夫について理解する。 ・反射波の位相と屈折率の関係を知る。 ・像ができるしくみを作図と式によって深く理解する。 ・干渉のしくみの理解と応用例を知る。 ・光のスペクトルや散乱・偏光などの観測結果からもたらされる光源に関する情報について理解する。 	知	<ul style="list-style-type: none"> ・光が進んでいくとき、反射、屈折、分散、散乱を行うこと、またその際にどのような法則が成りたっているのかを理解している。 ・屈折の法則を利用して、ガラスの屈折率を測定できている。 ・ペットボトルの中に水で薄めた牛乳（せっけん水）を入れ、懐中電灯で照らす実験で光の散乱を確認できている。 ・レンズと鏡によって生じる像を作図することができる。また、写像公式を理解し、式を利用して像のできる位置や像の大きさなどを求めることができる。 ・写像公式を利用して凸レンズの焦点距離を測定することができる。 ・ヤングの実験、回折格子、薄膜、くさび形空気層、ニュートンリングのそれぞれの光の干渉条件を理解している。 ・複スリットを作成し、それにレーザー光を当てて干渉縞を確認できる。 ・回折格子を用いて、ナトリウムランプが発する光の波長を求めることができる。 	2	学期
		思	<ul style="list-style-type: none"> ・光が2つの媒質の境界面で屈折するようすの図から、どちらの媒質のほうが光が伝わるのが速いか判断できる。 ・副虹がどのように見えるか、主虹の場合から類推して考えることができる。 ・プリズムで白色光が分散する理由を説明することができる。 ・晴れた日の昼の空が青く、夕焼けが赤く見える理由を説明することができる。 ・凸レンズによりスクリーン上に実像ができているとき、レンズの上半分を黒い紙でおおうと像がどうなるかを説明することができる。 ・凸レンズの焦点距離の外側に物体（光源）を置くと、ど 	中間・期末	考查

			<p>のような像が生じるか説明することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凸面鏡が、平面鏡よりもカーブミラーに適している理由を説明することができる。 ・鏡に全身が映るための条件を考えることができる。 ・お玉杓子の表面と裏面での反射について、それぞれどのように見えるかを説明することができる。 ・回折格子の実験で波長や格子定数を変えたときの明線の間隔の変化を考えることができる。 ・ヤングの実験で光が強めあうときの条件を説明することができる。 ・媒質の屈折率と光路長の関係を説明することができる。 ・くさび形空気層の平面ガラスに力を加えたときの縞の変化について説明することができる。 		
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・光が関係する現象に興味をもち、光についての基本事項と光の進み方について理解しようとしている。 ・屈折率の測定の実験、光の散乱の実験に主体的に取り組んでいる。 ・レンズや鏡に興味をもち、それによってどのような像ができるかについて理解しようとしている。 ・凸レンズの焦点距離の測定の実験に主体的に取り組んでいる。 ・しゃぼん玉やCD・DVDが色づいて見えることについて興味をもち、光の干渉や回折の現象を理解しようとしている。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉実験に主体的に取り組んでいる。 		
第1章 平面内の運動 1. 平面運動の速度・加速度 2. 落体の運動	<ul style="list-style-type: none"> ・平面運動においては、位置、速度、加速度などが2つの成分を持ったベクトルによって表現できることを理解する。 ・投射運動は水平と鉛直の2つの方向に分解することで理解しやすくなる。 	知	<ul style="list-style-type: none"> ・変位と移動距離の違いを理解している。 ・平面上の合成速度、相対速度の意味と求め方を理解している。 ・加速度は速度の時間変化を表すものであり、ベクトル量であること、またその求め方を理解できている。 ・水平投射は鉛直方向には自由落下、水平方向には等速直線運動をしていることを理解し、適切に式を運用できる。 ・斜方投射は鉛直方向には鉛直投げ上げ、水平方向には等速直線運動をしていることを理解し、適切に式を運用できる。 ・水平投射について、初速度を変えても同時に落下することを確認し、理解できている。 	3	学期
		思	<ul style="list-style-type: none"> ・動く観測者から見た場合の、観測者と同じ平面上を動く物体の運動のようすを説明できる。 ・斜方投射の運動のようすを、鉛直方向と水平方向に分けて説明できる。 ・斜方投射について、例題3で求められる水平到達距離の式の意味を理解し、説明することができる。 		学年末 考查
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・平面運動をしている物体の速度や加速度、相対速度などの表し方について学ぶ意味を理解しようとしている。 ・落体の運動、特に水平投射、斜方投射について、物体の運動はどのようになっているか理解しようとしている。 ・水平投射の運動のようすを確認する実験に主体的に取り組んでいる。 		
第2章 剛体 1. 剛体にはたらく力のつりあい 2. 剛体にはたらく力の合力と重心	<ul style="list-style-type: none"> ・剛体の静止の条件…合力が0（重心の停止）、かつ任意の点のまわりの力のモーメントの和が0（回転しない）となること。 ・剛体の静止条件を応用して、力の合成や重心について深く理解する。 	知	<ul style="list-style-type: none"> ・力のモーメントについて理解している。 ・剛体のつりあいでは、並進運動をしない条件と回転運動をしない条件が必要なことを理解している。 ・棒におもりをつり下げるとき、おもりの位置を変えていったときの、棒の両端にはたらく力の大きさを調べ、データにまとめることができる。 ・剛体にはたらく複数の力の合力を求めることができる。 ・偶力のモーメントを求めることができる。 	3	学期

	<ul style="list-style-type: none"> 安定なつり合いの条件を偶力などの考え方の応用として理解する。 		<ul style="list-style-type: none"> 与えられた剛体（または物体系）の重心を求めることができる。 剛体の転倒する条件を理解している。 厚紙でできた三角形の重心とつりあいの位置が同じになることを確かめることができる。 直方体をどのように置いたときに転倒しやすいかを調べることができる。 		
		思	<ul style="list-style-type: none"> 力のモーメントの式を理解し、うでの長さが異なるときにはたらく力の大きさについて考察できる。 剛体にはたらく力がつりあうための2つの条件を理解し、はたらく力の間の関係について説明できる。 棒におもりをつり下げるとき、おもりの位置を変えていったときの、棒の両端にはたらく力の大きさを調べ、2力の和と、力のモーメントの和について、それぞれどのような関係があるかを考えることができる。 剛体の転倒する条件を理解し、重心の位置と転倒のしやすさの関係を説明できる。 剛体の傾く条件を説明することができる。 力のモーメントの基準点を適切な位置にとり、剛体の転倒について考えることができる。 	学年末	考查
		主	<ul style="list-style-type: none"> 剛体のつりあいには、並進運動しない条件だけではなく、回転運動をしない条件が必要なことを理解しようとしている。 棒のつりあいを調べる実験に主体的に取り組んでいる。 剛体が傾く条件や転倒する条件を理解しようとしている。 厚紙でできた三角形の重心とつりあいの位置の関係を調べる実験や直方体の転倒のしやすさを調べる実験に主体的に取り組んでいる。 		
<p>第3章 運動量の保存</p> <ol style="list-style-type: none"> 運動量と力積 運動量保存則 反発係数 	<ul style="list-style-type: none"> 運動量と力積の関係が運動方程式から導かれることを理解する。 2物体の衝突・合体・分裂において運動量の和が保存されることを理解する。 反発係数と衝突後の運動状態の関係について理解する。 	知	<ul style="list-style-type: none"> 運動量と力積について、求め方を理解している。 運動量の変化は、その間に物体が受けた力積に等しいことを理解している。 直線運動の場合だけでなく、平面運動での運動量と力積との間に成りたつ関係式をベクトル図から考えることができる。 台車をハンマーでたたいて加速させるときの台車が受ける力と速度の時間変化を測定した結果からグラフを作成し、力積と運動量の関係を調べることができる。 直線運動、平面運動における運動量保存則を式で表現することができる。 実験6で、台車の衝突する位置を調べられる。 記録タイマーを用いて、台車が直線上で衝突し合体するとき、衝突の前後で運動量保存則が成りたつことを検証できる。 反発係数の式を用いて、衝突する物体の運動を調べることができる。 小球と床との間の反発係数は、衝突の前後における相対速度の比の絶対値で定義されること、またそれは落下距離と床に衝突した後の上昇距離との比の平方根に等しいということ理解している。 斜め衝突について理解している。 運動量保存則と反発係数の式から物体の速さを求めることができる。 弾性衝突以外の衝突では、力学的エネルギーが保存されないことを理解している。 	3	学期
		思	<ul style="list-style-type: none"> 運動量の変化と力積の関係の式から、物体が受ける力積と平均の力の大きさについて説明することができる。 運動量保存則が成りたつ条件を説明することができる。 	学年末	考查

		主	<ul style="list-style-type: none"> ・反発係数と運動量，力学的エネルギーの関係を説明することができる。 ・運動量保存則と反発係数の式から物体の速さを求め，物体の運動を説明することができる。 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・物体の運動について，運動量と力積を用いて理解しようとしている。 ・台車が受ける力積と運動量の変化の間に成りたつ関係を調べる実験に主体的に取り組んでいる。 ・身のまわりにある物体どうしの衝突の際に，衝突の前後で変わらない量があり，それが運動量であること，また運動量が衝突の前後で保存する条件を理解しようとしている。 ・運動量保存則を調べる実験に主体的に取り組んでいる。 ・弾みやすいかどうかを定量的に表すのが反発係数であることを理解しようとしている。 ・反発係数を調べる実験に主体的に取り組んでいる。 	

教科	理科	履修学年	2	教科書 (出版社)	高等学校 化学 (啓林館)
科目	化学α	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	新課程フォローアップドリル (数研出版)
単位数	2				セミナー化学基礎+化学 (第一学習社)

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、基本的な計算技能を身に付ける。 また、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 また、「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断量・表現力を養う。	科学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準		時期 考査	
		知	思	1	学期
電池と電気分解 ①電池 ②電気分解	電気エネルギーを取り出す電池の仕組みを酸化還元反応(電子の授受)と金属のイオン化傾向に関連付けて理解する。電気分解ではファラデーの法則に基づく量的関係や、電気分解の工業的利用についても理解する。	知	・電池と電気分解の仕組みについて理解している。 ・一次電池や二次電池の種類や特徴を理解している。 ・電気分解によって金属が製錬され、また他の物質が製造されることを理解している。	1	学期
		思	・電池、電気分解の各電極で起きている変化を反応式で表すことができる。 ・ファラデーの法則に基づく量的関係を計算で求めることができる。	中間	考査
		主	・電池と電気分解について、主体的に関わり、科学的に探求しようとしている。		
固体の構造 ①結晶とアモルファス ②金属結晶 ③イオン結晶 ④分子間力と分子結晶 ⑤共有結合の結晶	化学基礎では、イオン結合、共有結合、金属結合でできた物質について学習している。それらの知識と関連付けながら固体の結晶格子の概念とそれぞれの結晶構造について理解する。	知	・結晶とアモルファスの違いを理解し、結晶格子の概念及び結晶の構造を理解している。 ・各結晶の性質を理解している。 ・分子間力についてファンデルワールス力、極性分子間の静電気力および水素結合があることを理解している。	1	学期
		思	・各結晶の単位格子において、原子半径や密度および充填率を求めることができる。 ・物質の沸点や融点、分子間力の観点からその違いを説明できる。	期末	考査
		主	・固体の構造について、主体的に関わり、科学的に探求しようとしている。		
物質の状態変化 ①粒子の熱運動 ②三態の変化とエネルギー ③気液平衡と蒸気圧	状態変化に伴うエネルギーの出入りや化学結合と融点・沸点の関係を理解するとともに、気液平衡や蒸気圧、状態図についても理解する。	知	・物質の三態を粒子の熱運動と関連付けて理解している。 ・状態変化による熱の出入りとその熱の種類を理解している。 ・気液平衡状態における気体の圧力が蒸気圧であることを理解している。	1	学期
		思	・状態変化における熱量を求めることができる。 ・蒸気圧の性質について現象をもとに説明できる。 ・外圧が変化したときの沸点の変化を蒸気圧の観点から説明できる。	期末	考査
		主	・物質の状態変化について、主体的に関わり、科学的に探求しようとしている。		
気体 ①気体の体積 ②気体の状態方程式	理想気体の状態方程式について理解し、それを利用した分子数計算についても理解する。ま	知	・気体の体積や温度および圧力について、ボイルの法則やシャルルの法則および気体の状態方程式を用いて求めることができる。	2	学期

③混合気体の圧力 ④実在気体	た、混合気体に対する考え方や実在気体と理想気体の違いについて理解する。		<ul style="list-style-type: none"> 混合気体について分圧の法則を理解している。また、モル分率利用して分圧を求めることができる。 理想気体と実在気体の違いについて理解している。 		
		思	<ul style="list-style-type: none"> 実験を通して、揮発性液体の分子量を求めることができる。 温度と体積の条件と蒸気圧曲線から、気体が凝縮するかしないかを判断することができる。 実在気体の理想気体からのずれについて、グラフを読み取り説明することができる。 	中間	考查
		主	<ul style="list-style-type: none"> 気体について、主体的に関わり、科学的に探求しようとしている。 		
溶液 ①溶解とその仕組み ②溶解度 ③希薄溶液の性質 ④コロイド溶液	溶解の仕組みを理解するとともに、固体および気体の溶解度を溶解平衡と関連付けて理解する。また、希薄溶液の性質やコロイド溶液の性質について、身近な現象と結びつけながら理解する。	知	<ul style="list-style-type: none"> 溶解のしくみについて理解している。 固体の溶解度と気体の溶解度のしくみについて理解している。 希薄溶液の性質を理解し、沸点上昇、凝固点降下の簡単な計算ができる。 浸透圧についてファントホッフの法則から求めることができる。 コロイド溶液の性質について理解している。 	2	学期
		思	<ul style="list-style-type: none"> 電解質と非電解質の溶解のしくみを説明できる。 固体の溶解度曲線から析出量等を求めることができる。また、硫酸銅五水和物のような水和物の析出量も求めることができる。 気体の溶解度について、ヘンリーの法則を基に求めることができる。 希薄溶液の性質を利用して、溶質の分子量を求めることができる。また、溶質が電解質と非電解質とで性質が変化することを計算に利用できる。 コロイド溶液の実験を通して、その性質を説明できる。 	期末	考查
		主	<ul style="list-style-type: none"> 溶液について、主体的に関わり、科学的に探求しようとしている。 		
化学反応とエネルギー ①化学反応と熱 ②ヘスの法則 ③化学反応と光	化学反応の前後における物質のもつ化学エネルギーの差が熱の発生や吸収となって現れ、その熱量の変化をエンタルピー変化として記述することを理解する。また、化学反応には光の発生や吸収が伴うものがあることも、具体的な反応を交えながら理解する。	知	<ul style="list-style-type: none"> 化学変化とエンタルピーの変化について理解する。また、エンタルピー変化を付した反応式をつくることができる。 ヘスの法則を理解する。 結合エネルギーについて理解する。 化学変化では、熱以外に光の発生や吸収があることを理解する。 	3	学期
		思	<ul style="list-style-type: none"> エンタルピー変化を表した図から情報を読み取ることができる。 ヘスの法則を利用してエンタルピー変化を求めることができる。 結合エネルギーの総和から、エンタルピー変化を求めることができる。 実験を通して、水酸化ナトリウムの溶解エンタルピーと中和エンタルピーを求めることができる。 	学年末	考查
		主	<ul style="list-style-type: none"> 化学変化とエネルギーについて、主体的に関わり、科学的に探求しようとしている。 		
化学反応の速さとしくみ ①化学反応の速さ ②反応条件と反応速度 ③化学反応のしくみ	化学反応の反応速度の表し方とともに、反応速度と反応条件（濃度、温度、触媒）の関係や反応の仕組み、触媒の利用について理解する。	知	<ul style="list-style-type: none"> 化学反応の速さの定義を理解し、表すことができる。 反応速度が濃度と温度に依存することを理解できる。 反応速度と触媒の関係について理解する。 	3	学期
		思	<ul style="list-style-type: none"> 化学反応の濃度変化のグラフを読み取ることができる。また、そのグラフ（もしくは表）から平均の反応速度と平均の濃度変化を求め、その関係をグラフに表すことができる。 	学年末	考查

			<ul style="list-style-type: none"> ・ 実験結果から反応速度式を表すができる。 ・ 温度上昇により反応速度が上昇することを粒子のエネルギー分布から説明できる。 ・ 触媒とその反応機構を説明できる。 		
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・ 化学反応の速さとしくみについて、主体的に関わり、科学的に探求しようとしている。 		
化学平衡 ①可逆反応と化学平衡	可逆反応と平衡状態について理解し、平衡定数を利用した量的関係の計算のしかたを理解する	知	<ul style="list-style-type: none"> ・ 可逆反応と不可逆反応について理解する。 ・ 平衡定数を表すことができる。 	3	学期
		思	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平衡の移動を平衡定数から求めることができる。 		学
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・ 化学平衡について、主体的に関わり、科学的に探求しようとしている。 		年 末 考 査

<p>4章 生物の環境応答</p> <p>1節 動物の反応</p> <p>1 刺激の受容</p> <p>2 ニューロンと興奮</p> <p>3 神経系の働き</p> <p>4 刺激に対する反応</p> <p>2節 動物の行動</p> <p>1 生得的行動</p> <p>2 習得的行動</p>	<p>刺激の受容と反応に関する資料に基づいて、外界の刺激を受容し神経系の働きと関連づけて理解する。</p> <p>動物の行動に関する資料に基づいて、行動を神経系の働きと関連づけて理解する。</p>	<p>知</p> <p>人が受容する刺激を理解している 眼の構造としくみを理解している 耳の構造としくみを理解している 活動電位が発生するしくみを理解している 刺激の強さを伝えるしくみを理解している 興奮伝達のしくみを理解している 脳や脊髄の構造を理解している 筋肉が収縮するしくみを理解している 生得的行動と習得的行動の違いを理解している 行動と神経系の関係を理解している</p>	<p>2 学 期</p>	<p>中 間 ・ 期 末 考 査</p>
<p>3節 植物の成長と環境応答</p> <p>1 植物の一生と環境応答</p> <p>2 植物の成長</p> <p>3 開花・結実の調節</p> <p>4 その他の環境応答</p> <p>5 被子植物の受精と発生</p>	<p>植物の環境応答に関する観察、実験などを行い、植物の成長や反応に植物ホルモンが関わることを見出して理解する。</p> <p>資料に基づいて、花芽形成のしくみや花芽を分化セル遺伝子のはたらきを見出して理解する。</p>	<p>知</p> <p>植物がどんな応答をするか理解している 光受容体の働きを理解している 植物ホルモンについて理解している 屈性のしくみを理解している 光周性のしくみを理解している 花芽形成と遺伝子の関係を理解している 発芽調節について理解している 被子植物の受精のしくみを理解している</p> <p>思</p> <p>実験に基づき植物ホルモンの存在を考察できる 実験に基づいて屈性のしくみを考察できる 資料から光周性の存在に気づくことができる 資料に基づき花芽形成のしくみを考察できる 実験からABCモデルを導くことができる</p> <p>主</p> <p>植物の環境応答について調べようとしている 環境応答のしくみを見出そうとしている 実験や観察を主体的に進めようとしている 授業内容や思考内容を記録し整理する</p>	<p>3 学 期</p>	<p>学 年 末 考 査</p>

教科	保健体育	履修学年	2	教科書 (出版社)	新高等保健体育 (大修館)
科目	体育	必修 または 選択	必修	副教材 など	
単位数	2		必修選択 自由選択		

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、一人一人の違いを大切にしようとしている。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準		時期	
		知	思	主	考查
体づくり運動	<p>(1) 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てること。</p> <p>ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合うこと。</p> <p>イ 実生活に生かす運動の計画では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むこと。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>(3) 体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・体づくり運動では、自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書き出ししたりしている。</p> <p>・体力の構成要素は、健康に生活するための体力と運動を行うための体力に密接に関係していることについて、言ったり書き出ししたりしている。</p>	<p>・生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案している。</p> <p>・体づくり運動の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。</p>	1	学期
		<p>・体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。</p> <p>・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。</p>			
体育理論	<p>(1) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるようにする。</p> <p>(2) 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるようにする。</p> <p>(3) 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるようにする。</p>	<p>・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解している。</p> <p>・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解している。</p>	<p>・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p>	2・3	学期
		<p>・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>・豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>			
バレーボール	<p>(1) 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>イ ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した</p>	<p>・球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法について、学習した具体例を挙げている。</p> <p>・チームの作戦に応じた守備位置から、拾ったりつないだり打ち返したりすることができる。</p>		2	学期

	<p>用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。</p> <p>(3) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>思</p> <p>主</p>	<p>・選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点について、自己の考えを伝えている。</p> <p>・チームでの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付け、仲間に伝えている。</p> <p>・球技の学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</p>		
水泳	<p>(1) 次の運動について、記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐこと。</p> <p>ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>ウ 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>エ バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>オ 複数の泳法で長く泳ぐこと又はリレーをすること。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>(3) 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>	<p>・水泳では、各種目や運動の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、効率のよい泳ぎにつながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方について、学習した具体例を挙げている。</p> <p>・水泳の種目によって必要な体力要素があり、その種目の技能に関連させながら体力を高めることができる。</p> <p>・流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズムカルなキックを打つことができる。</p> <p>・抵抗の少ない肩幅程度の足の引き付けから、足先を外側にして直ちにキックをすることができる。</p> <p>・水平姿勢を維持しながら泳ぐことができる。</p> <p>・体のうねり動作に合わせたしなやかなドルフィンキックをすることができる。</p> <p>・各泳法に適した準備の姿勢から、スタートの合図と同時に力強く蹴りだし、抵抗の少ない姿勢で進行方向に体を伸ばすことができる。</p> <p>・選択した泳法について、自己や仲間の動きを分析して、良い点や修正点とその理由を仲間に伝えている。</p> <p>・課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。</p> <p>・自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てることにについて振り返っている。</p> <p>・練習や競技会などの場面で、自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を見付けている。</p> <p>・水泳の学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</p> <p>・水泳の事故防止の心得を遵守し、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。</p>	1 ・ 2	学期
テニス	<p>(1) 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>イ ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。</p> <p>(3) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>	<p>・球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法について、学習した具体例を挙げている。</p> <p>・ボールを相手側のコートへの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。</p> <p>・選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点について、自己の考えを伝えている。</p> <p>・体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付け、仲間に伝えている。</p> <p>・球技の学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</p>	2	学期

サッカー	<p>(1) 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>ア ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空 間への侵入などから攻防をすること。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。</p> <p>(3) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	知	<ul style="list-style-type: none"> 球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法について、学習した具体例を挙げている。 得点を取るためのフォーメーションやセットプレイなどのチームの役割に応じた動きをすることができる。 	1	学期
		思	<ul style="list-style-type: none"> 選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点について、自己の考えを伝えている。 チームでの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付け、仲間に伝えている。 		
		主	<ul style="list-style-type: none"> 球技の学習に主体的に取り組もうとしている。 相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 		
器械運動	<p>(1) 次の運動について、技がよりよくできたり自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解するとともに、自己に適した技で演技すること。</p> <p>ア マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技すること。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>(3) 器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を讃えようとする、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	知	<ul style="list-style-type: none"> 器械運動では、技の系、技群、グループの系統性の名称があり、それぞれの技には、技能の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方について、学習した具体例を挙げている。 器械運動の種目によって必要な体力要素があり、その種目の技能に関連させながら体力を高めることができることについて、学習した具体例を挙げている。 マット運動 <p>新たに学習する基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて回ることができる。</p>	1	学期
		思	<ul style="list-style-type: none"> 選択した技の行い方や技の組合せ方について、自己や仲間の動きを分析して、良い点や修正点を指摘することについて、自己の活動を振り返っている。 練習や演技の場面で、自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方とその理由を仲間に伝えている。 		
		主	<ul style="list-style-type: none"> 器械運動の学習に主体的に取り組もうとしている。 自己の状況にかかわらず、よい演技を讃えようとしている。 		
陸上競技(長距離走)	<p>(1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。</p> <p>ア 長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができるようにする。</p> <p>(2) 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>(3) 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	知	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技では、各種目の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的な練習の仕方について、学習した具体例を挙げている。 自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができる。 	2・3	学期
		思	<ul style="list-style-type: none"> 練習や競技会の場面で、自己や仲間の活動を振り返り、よりよいルールやマナーについて、自己の活動を振り返っている。 選択した運動種目について、自己や仲間の動きを分析して良い点や修正点とその理由を仲間に伝えている。 		
		主	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技の学習に主体的に取り組もうとしている。 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 		

教科	保健体育	履修学年	2	教科書 (出版社)	新高等保健体育 (大修館)
科目	保健	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	
単位数	1				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	学習内容について、理解したことを言ったり書いたりしている。	学習内容に関する課題を発見し、解決方法などを話し合い、筋道を立てて説明している。	課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準	時期
			考查
<ul style="list-style-type: none"> ・思春期と健康 ・性意識の変化と性行動の選択 ・結婚生活と健康 ・妊娠・出産と健康 ・家族計画 ・加齢と健康 ・高齢社会に対応した取り組み 	<p>生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付ける。</p> <p>(7) 生涯の各段階における健康</p> <p>生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていること。</p>	<p>知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。 ・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・中高年期を健康やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・高齢社会では、認知症を含む疾病等への対処、事故の防止、生活の質の保持、介護などの必要性が高まることなどから、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて、理解したことを言った 	1
		<p>思</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 	
		<p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	

学期・考查

<ul style="list-style-type: none"> ・働くことと健康 ・労働災害の防止 ・働く人の健康づくり ・大気汚染と健康 ・水質汚濁・土壌汚染と健康 ・健康被害を防ぐための環境対策 ・環境衛生に関わる活動 ・食品の安全性と健康 ・食品の安全性を確保する取り組み ・保健制度とその活用 ・医療制度とその活用 ・医薬品の制度とその活用 ・様々な保健活動や対策 ・誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり 	<p>生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付ける。</p> <p>(イ) 労働と健康 労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をすることがあること。</p> <p>健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付ける。</p> <p>(ロ) 環境と健康 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。また、環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとすよう基準が設定され、それに基づき行われていること。</p> <p>(ハ) 食品と健康 食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていること。</p> <p>(ニ) 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であること。</p> <p>また、医薬品は、有効性及び安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であること。</p> <p>(ホ) 様々な保健活動や社会的対策 我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていること。</p> <p>(ヘ) 健康に関する環境づくりと社会参加 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした、健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であること。</p>	<p>・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・働く人の日常生活においては、積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・健康への影響や被害を防止するために環境基本法などの法律等が制定されており、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの総合的・計画的対策が講じられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・食品衛生に関わる健康被害の防止と健康の保持増進には、適切に情報を公開、活用するなど行政・生産者・製造者・消費者などが互いに関係を保ちながら、それぞれの役割を果たすことが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・医薬品は、医療用医薬品、要旨医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性及び安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で、使用法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基いた、健康に関する環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・一人一人が健康に関心をもち、健康を支える適切な環境づくりに積極的に参加していくことが必要であり、そのことが自分を含めた世界の人々の健康の保持増進につながるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>
		<p>・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。</p> <p>・環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>・食品と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>・食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健</p>

		<p>健康被害の防止と健康を保持管理するための計画を立てている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が課けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・様々な保健活動や社会的対策について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用している。 ・様々な保健活動や社会的対策について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・ヘルスプロモーションの考え方に基ついた、健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を立てている。 	
<p>課題研究 研究発表</p>	<p>研究課題決め 資料収集 文献検索 実験・実地調査 発表資料作成 レポート作成 1人8分以内で発表</p>	<p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働災害と健康、環境と健康、食品と健康、保健・医療制度及び地域の保健・医療機関、様々な保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 <p>知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマに関連する先行研究の文献や資料を丹念に調べており、研究に関する広範囲な情報を得ている。 ・データ収集、分析、原稿作成などの実施時期や方法を進んで調べ、研究を主体的に進捗させている。 ・豊富な先行研究を踏まえたうえで、調べた資料やデータから独創性のあるアイデアを導き出している。 <p>思</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。 ・安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。 ・生涯を通じる健康や健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法思考し判断するとともに、それらを表現すること。 <p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会や安全な社会生活について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 ・生涯を通じる健康や健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	<p>3</p> <p>学期・考査</p>

教科	芸術	履修学年	2	教科書 (出版社)	音楽I Tutti+ (教育出版)
科目	音楽I	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	プリント
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

歌唱、器楽、鑑賞などの音楽の幅広い活動を通して、音楽の多様性について理解して興味・関心・知識を高める。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付け感性を高めるとともに、音楽文化と深く関わる資質・能力を育成する。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	創意工夫した音楽表現に必要な技術を身に付け、音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりを理解出来たか。	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫したり、音楽を評価しながら美しさを自ら味わうことが出来るか。	音楽を愛好する心情を育み感性を高め、音楽文化と積極的に関わることが出来ているか。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準		時期 考查	
		知	思	主	
発声の基本 イタリア語の歌 楽典	校歌 ' 0 sole mio Caro mio ben Santa Lucia 楽典	知	きちんとした呼吸法を身に付け、無理のないきれいな発声で歌うことが出来る。音楽の構造や背景を理解して歌っているか。	1	学期
		思	自己のイメージを持って音楽表現を工夫しながら、その音楽の意味や価値などを評価して歌っているか。	中間	考查
		主	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、感性を高め、音楽文化に積極的に関わり、音楽を愛好する心情を育む努力をしているか。		
鑑賞 ドイツ語の歌 実技テスト（歌唱）	ボレロ An die Freude Heidenröslein(シュベルト) Heidenröslein(グエルナー) イタリアの歌	知	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解して、創意工夫を生かした音楽表現に必要な技能を身に付けることが出来たか。	1	学期
		思	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫するために、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、表現力を高めているか。	期末	考查
		主	音楽文化に親しみ、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むために、主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組んでいるか。		
日本の歌 混声合唱	この道 波辺の歌 夏の思い出 An die Freude 生徒の実力に合った混声四部 合唱曲	知	その音楽固有の雰囲気や表情、味わいなどを感じ取りながら、自己のイメージや感情と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりを捉え、理解することが出来たか。	2	学期
		思	音や音楽に対する自己のイメージを膨らませたり他者のイメージに共感しながら、どのように音楽で表現するかについて表現意図を持つことが出来たか。	中間	
		主	一人一人が自らの考えを他者と交流したり、互いの気付きを共有し、感じ取ったことなどに共感したりしながら個々の学びを深められたか。		
混声合唱 楽典 実技テスト（歌唱）	生徒の実力にあった混声四部 合唱曲 和音について 合唱曲	知	個々の音楽の特徴を捉え、さらに複数の音楽を比較したり関連付けたりするなどして、それぞれの音楽の共通性や固有性を捉え、理解することが出来る様になったか。	2	学期
		思	これまでの音楽科での学習を基礎にしつつ、新たに習得した知識や技能、経験などを踏まえて音楽表現に対する自己のイメージを一層豊かに表現意図を明確に出来たか。	期末	考查
		主	音楽活動を通して、音や音楽のよさや美しさなどを感じるとともに、表現意図をもって音楽で表したり、味わって聴いたりする力を育成できたか。		

器楽	キーボード メヌエット	知	音楽を形づくっている要素の働きについて実感を伴って理解したり、音楽に関する歴史や文化的意義を、表現や鑑賞の活動を通して、自己との関わりの中で理解できたか。	3	学期
物語と音楽の関わり	日本の伝統音楽 オペラ ミュージカル	思	既習の音楽を基礎にして、主体的に音楽に関わり、音楽のよさや美しさを味わっていくために、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図ることができたか。	学年末	考查
実技テスト	キーボード	主	生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むために、音楽が醸し出す質的な世界を認識し、音楽だけではなく、あらゆるもののよさや美しさを感じ取る活動ができたか。		

教科	芸術	履修学年	2	教科書 (出版社)	美術1 (美村図書)
科目	美術I	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

芸術の幅広い視点から、美術において造形的な見方、考え方を働かせて、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに幅広く関わる資質、能力を育成することを目指す。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	表現題材における内容を美的体験を通して、具体的に表現することを身につけている。	表現題材における課題を自ら発見し、発想や構想を具体的な表現へと解決する力を身につけている。	美術文化と幅広く関わり、造形的な見方、考え方を働かせ、主体的に表現制作に取り組む態度を身につけている。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準			時期 考查	
		知	思	主	1	2
・鉛筆デッサン 「私の手」	<ul style="list-style-type: none"> 自分の手をデッサンすることによって、人体の美しい造形を理解する。 絵画における空間の意味を理解する。 鉛筆とネリ消しを用いて空間を表現する技術を習得する。 	知	自分の手の特徴や美しさを基に形や質感をとらえ、空間を鉛筆で表現する技能を身につけている。		1	学期
		思	自分の手の特徴や美しさを基に形や質感をとらえ、空間を鉛筆で表現する発想、構想を身につけている。			考查
		主	自分の身体の特徴や美しさに気付き、鉛筆デッサンの表現制作に主体的に取り組む態度を身につけている。			
・ポスター 「自己PRポスター」	<ul style="list-style-type: none"> ポスターの持つメッセージ性や社会性を理解する。 「自己PRポスター」の学習を通して、イラストレーションやフォントの美しさに気付き、アクリルガッシュで表現する技法を習得する。 	知	伝えたいメッセージを形や色彩、写真やイラストレーション、文字などによる伝達効果を考え、アクリルガッシュで表現する技能を身につけている。		1	学期
		思	伝えたいメッセージを形や色彩、写真やイラストレーション、文字などによる伝達効果を考え、アクリルガッシュで表現する発想、構想を身につけている。			考查
		主	伝えたいメッセージを形や色彩、写真やイラストレーション、文字などによる伝達効果を考え、アクリルガッシュでの表現制作に主体的に取り組む態度を身につけている。			
・デザイン 「ポテトチップスパッケージデザイン」	<ul style="list-style-type: none"> 美しく機能的なパッケージデザインの有様を理解する。 愛されるキャラクターをデザインして理解する。 「ポテトチップスパッケージデザイン」の学習を通して、いろいろなアクリルガッシュの技法を習得する。 	知	商品のイメージを基に、形や色彩などの効果を考え、美しく機能的なパッケージデザインをアクリルガッシュで表現する技能を身につけている。		2	学期
		思	商品のイメージを基に、形や色彩などの効果を考え、美しく機能的なパッケージデザインをアクリルガッシュで表現する発想、構想を身につけている。			
		主	暮らしの中の使うデザインの有様を理解するとともに、パッケージデザインの表現制作に主体的に取り組む態度を身につけている。			
・現代美術 「オブジェ」	<ul style="list-style-type: none"> 現代で生まれた現代アートをその発生から学び、意味を理解する。 空カンを使い、実際にオブジェを表現することで現代アートの意味を理解する。 	知	現代アートの意味を理解して、空カンのもつ日常合理的意識を破壊して、いろいろな道具を使い、空カンに新しい価値を見出し表現する技能を身につけている。		2	学期
		思	現代アートの意味を理解して、空カンのもつ日常合理的意識を破壊して、いろいろな道具を使い、空カンに新しい価値を見出し表現する発想、構想を身につけている。			考查
		主	現代アートの意味を理解して、空カンのもつ日常合理的意識を破壊して、いろいろな道具を使い、空カンに新しい価値を見出し主体的に表現し、取り組む態度を身につけている。			

<p>・石膏デッサン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵画における空間の意味を理解する。 ・ 量の意識、面の意識をもち石膏デザインする。 ・ 石膏デザインから人体につながるムーブマン（動勢）を理解する。 	知	量と面の意識をもち、石膏像のムーブマンをとらえ、鉛筆で表現する技能を身につけている。	3	学期 考查
		思	量と面の意識をもち、石膏像のムーブマンをとらえ、鉛筆で表現する発想、構想を身につけている。		
		主	石膏像の原作者や、その時代背景にまで思いを馳せ、主体的に石膏デザインに取り組む態度を身につけている。		

教科	芸術科	履修学年	2	教科書 (出版社)	書 I 光村図書
科目	書道 I	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	プリント
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

書の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育て、感性を豊かにします。 様々な場面における書写能力を高めます。 主体的な表現と書の美しさを感じ取る鑑賞の基礎的な能力を伸ばします。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	作品鑑賞と添削を重ね、自己を主体的にかつ創造的に表現するための基礎的な技能が身に付くよう指導します。	感性を豊かにし、書のよさや美しさを深く感じ取るために、細やかな視点で作品を味わう指導をします。	添削や相互批評を通して作品の意図に適した表現をするための思考や判断力を培い取り組む姿勢を養います。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準			時期
		知	思	主	考查
書道の基本 [教材：教科書・大筆]	<ul style="list-style-type: none"> 授業の進め方 用具の理解 用具の扱い方 	知	各単元での基礎的な書道の知識（用具用材、古典名、作者、字形、年代）が理解できているか。	1	学期
		思	どのような工程や歴史を経てできているか考えて取り組むことができているか。 どうしたら書きやすいようにできるか考える事ができているか。	1	考查
		主	自分から進んで課題を取り組んでいるか。 自ら不足分を発見し修正できるように取り組むことができるか。		
篆刻 [教材：教科書・印材・印刀・印泥] 漢字かな交じりの書1(楷書) [教材：教科書・大筆]	<ul style="list-style-type: none"> 小印の制作 用具の扱い方 篆刻の基本理解 楷書の用筆法を活かした制作 	知	各単元での基礎的な書道の知識（用具用材、古典名、作者、字形、年代）が理解できているか。	1	学期
		思	どのような工程や歴史を経てできているか考えて取り組むことができているか。 どうしたら書きやすいようにできるか考える事ができているか。	1	考查
		主	自分から進んで課題を取り組んでいるか。 自ら不足分を発見し修正できるように取り組むことができるか。		
漢字の書2(行書) [教材：教科書・大筆]	<ul style="list-style-type: none"> 行書の特徴の理解 古典臨書 半切1/2創作作品制作 	知	各単元での基礎的な書道の知識（用具用材、古典名、作者、字形、年代）が理解できているか。	2	学期
		思	どのような工程や歴史を経てできているか考えて取り組むことができているか。 どうしたら書きやすいようにできるか考える事ができているか。	2	
		主	自分から進んで課題を取り組んでいるか。 自ら不足分を発見し修正できるように取り組むことができるか。		
仮名の書 [教材：教科書・仮名用小筆]	<ul style="list-style-type: none"> 仮名の特徴の理解 平仮名の単体、連綿変体仮名の学習 古筆臨書 	知	各単元での基礎的な書道の知識（用具用材、古典名、作者、字形、年代）が理解できているか。	2	学期
		思	どのような工程や歴史を経てできているか考えて取り組むことができているか。 どうしたら書きやすいようにできるか考える事ができているか。	2	考查
漢字仮名交じりの書2(行書) [教材：教科書・大筆]	<ul style="list-style-type: none"> 半紙作品の制作 行書の用筆法を活かした制作 はがきの表書き、芳名帳、のし袋、手紙の書き方 	知	各単元での基礎的な書道の知識（用具用材、古典名、作者、字形、年代）が理解できているか。	2	学期
		思	どのような工程や歴史を経てできているか考えて取り組むことができているか。 どうしたら書きやすいようにできるか考える事ができているか。	2	考查

筆・ボールペン]		主	自分から進んで課題を取り組んでいるか。 自ら不足分を発見し修正できるように取り組むことができるか。		
漢字の書3(篆書・隸書) [教材:教科書・大筆] 漢字仮名交じりの書3 [教材:教科書・大筆] 鑑賞 [教材:教科書]	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク学習と発表 ・半切1/3作品制作 ・これまでの学習した用筆法を活かした制作 ・作品の鑑賞と相互批判 	知	各単元での基礎的な書道の知識(用具用材、古典名、作者、字形、年代)が理解できているか。	3	学期
		思	どのような工程や歴史を経てできているか考えて取り組むことができているか。 どうしたら書きやすいようにできるか考える事ができているか。	3	考査
		主	自分から進んで課題を取り組んでいるか。 自ら不足分を発見し修正できるように取り組むことができるか。		
漢字の書3(篆書・隸書) [教材:教科書・大筆] 漢字仮名交じりの書3 [教材:教科書・大筆] 鑑賞 [教材:教科書]	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク学習と発表 ・半切1/3作品制作 ・これまでの学習した用筆法を活かした制作 ・作品の鑑賞と相互批判 	知	各単元での基礎的な書道の知識(用具用材、古典名、作者、字形、年代)が理解できているか。	3	学期
		思	どのような工程や歴史を経てできているか考えて取り組むことができているか。 どうしたら書きやすいようにできるか考える事ができているか。	3	考査
		主	自分から進んで課題を取り組んでいるか。 自ら不足分を発見し修正できるように取り組むことができるか。		

教科	外国語	履修学年	2	教科書 (出版社)	LANDMARK English Communication II (啓林館)
科目	英語コミュニケーションII	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	LANDMARK WORKBOOK, Target 1400, Listening Coach Training Stage, 英語速読演習 New Edition Mileage Reader 4, Newsbreaks Basic
単位数	4				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、5領域において言語活動およびこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質。能力を養う。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。日常会話や社会的な問題についての文等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身につけている。また、その内容について自分の意見を話したり、書いたり、伝えあったりする技能を身につけている。	日常会話や社会的な話題について、必要な情報を聞いたり読んだりして、話の展開や話し手の意図・概要・要点・詳細を捉えている。また、その内容について自分の意見を話したり、書いたり、伝えあったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることについて、聞いたり、読んだり、書いたり、話したり、伝えあったりしようとしている。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準			時期 考 査	
		知	思	主		
Lesson 1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan	<p>〈聞くこと〉日本の地域における驚くべきことについて話されている対話から必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。</p> <p>〈読むこと〉海外の視点から見た日本の不思議について書かれた文章を読み、補語になる分詞のSVOC (Cが分詞)と補語になる分詞のSVC (Cが分詞)の意味や構造を理解する。また必要な情報を聞き取り、要点や詳細を把握する。</p> <p>〈話すこと [やり取り]〉自分が驚いた日本文化について、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。</p> <p>〈話すこと [発表]〉日本の看板や標識が抱える問題点や、その改善方法について、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。</p> <p>〈書くこと〉日本の看板や標識が抱える問題点や、その改善方法について、情報や考えを論理性に注意して文章を書いて伝える。</p>	知	・海外の視点から見た日本の不思議について書かれた文章を読み、補語になる分詞のSVOC (Cが分詞)と補語になる分詞のSVC (Cが分詞)の意味や構造を理解している。また必要な情報を聞き取り、要点や詳細を把握している。	思	・海外の視点から見た日本の不思議について書かれた文章を読み、話の展開や意図・概要・詳細を捉えている。	1 学 期 中 間 考 査
		主	・自分が驚いた日本の文化について、その情報を読み取ろうとしている。また、そこで得た情報を元に、自分の考えを話したり、書いたりなどの方法でやり取りをしようとしている。	・日本の看板や標識が抱える問題点や改善方法について、その情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話したり、かいたりして、伝えようとしている。		
		知	・コウテイペンギンの生態について書かれた文章を読み、比較級を使用した最上級の表現や未来完了形、比較を使用した構文の意味や構造を理解している。また必要な情報を聞き取り、要点を把握している。	思	・コウテイペンギンの生態について書かれた文章を読み、話の展開や意図・概要・詳細を捉えている。	
Lesson 2 A Message from the Emperor Penguins	<p>〈聞くこと〉ペンギンの生態について話されている対話から必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。</p> <p>〈読むこと〉コウテイペンギンの生態について書かれた文章を読み、比較級を使用した最上級の表現や未来完了形、比較を使用した構文の意味や構造を理解する。また必要な情報を聞き取り、要点や詳細を把握する。</p> <p>〈話すこと [やり取り]〉自分の関心のある動物とその動物から学んだことについて、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。</p> <p>〈話すこと [発表]〉気候変動の影響により絶滅の危機にある動物について、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。</p> <p>〈書くこと〉自分の関心のある動物とその動物から</p>	知	・コウテイペンギンの生態について書かれた文章を読み、比較級を使用した最上級の表現や未来完了形、比較を使用した構文の意味や構造を理解している。また必要な情報を聞き取り、要点を把握している。	思	・コウテイペンギンの生態について書かれた文章を読み、話の展開や意図・概要・詳細を捉えている。	1 学 期 中 間 考 査
		主	・気候変動の影響により絶滅の危機にある動物について、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話したり、書いたりして、伝えようとしている。	・自分の関心のある動物とその動物から学んだことについて、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りをしようとしている。		
		知	・コウテイペンギンの生態について書かれた文章を読み、比較級を使用した最上級の表現や未来完了形、比較を使用した構文の意味や構造を理解している。また必要な情報を聞き取り、要点を把握している。	思	・コウテイペンギンの生態について書かれた文章を読み、話の展開や意図・概要・詳細を捉えている。	

	<p>学んだことについて、情報や自分の考えを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝える。</p>			
<p>Lesson 3 Tokyo's Seven-minute Miracle</p>	<p>〈聞くこと〉日本が誇れることについて話されている対話から必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。</p> <p>〈読むこと〉新幹線の清掃員の仕事の様子とその仕事に対する考えについて書かれた文章を読み、強調のための倒置やto不定詞と共に使われる形式目的語のit、節と共に使われる形式目的語のitの意味や構造を理解する。</p> <p>〈話すこと [やり取り]〉日本が誇れることについて、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。</p> <p>〈話すこと [発表]〉先進的な日本の技術や製品について、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。</p> <p>〈書くこと〉日本が誇れることについて、情報や考えを論理性に注意して文章に書いて伝える。</p>	知	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線の清掃員の仕事の様子とその仕事に対する考えについて書かれた文章を読み、要点を理解し、また、強調のための倒置やto不定詞と共に使われる形式目的語のit、節と共に使われる形式目的語のitの意味や構造を把握している。 	1学期 期末 考査
		思	<p>新幹線の清掃員の仕事の様子とその仕事に対する考えについて書かれた文章を読み、話の展開や意図・概要・詳細を捉えている。</p>	
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・日本が誇れることについて、情報や自分の考えを詳しく話したり、書いたりして、伝えようとしている。 ・先進的な日本の技術や製品について、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝えあうやり取りをしようとしている。 	
<p>Reading 1 The Selfish Giant</p>	<p>〈読むこと〉『わがままな大男』の物語から必要な情報を読み取り、要点や詳細を把握する。</p> <p>〈話すこと [やり取り]〉『わがままな大男』で書かれている分かち合うことの大切さについて、自分の考えや気持ちを話して伝え合うやり取りを続ける。</p>	知	<ul style="list-style-type: none"> ・『わがままな大男』の物語から必要な情報を読み取り、要点や詳細を把握するための基本的な知識を身につけている。 	1学期 期末 考査
		思	<ul style="list-style-type: none"> ・『わがままな大男』の物語から必要な情報を読み、話の展開や意図・概要・詳細を捉えている。 	
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・『わがままな大男』で書かれている分かち合うことの大切さについて、自分の考えや気持ちを話して伝え合うやり取りをしようとしている。 	
<p>Lesson 4 Seeds for the Future</p>	<p>〈聞くこと〉F1種の利点について話されている対話から必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。</p> <p>〈読むこと〉タネの保全のための取り組みについて書かれた文章を読み、付帯状況を表すwith + 0 + αや使役動詞の意味や構造を把握する。また文章から必要な情報を読み取り、要点や詳細を把握する。</p> <p>〈話すこと [やり取り]〉固定種の利点についてF1種と比較しながら、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。</p> <p>〈話すこと [発表]〉固定種の利点についてF1種と比較しながら、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。</p> <p>〈書くこと〉日本の食料自給率について、情報や自分の考えを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝える。</p>	知	<ul style="list-style-type: none"> ・タネの保全のための取り組みについて書かれた文章を読み、付帯状況を表すwith + 0 + αや使役動詞の意味や構造を理解している。また文章から必要な情報を読み取り、要点を把握している。 	1学期 期末 考査
		思	<ul style="list-style-type: none"> ・タネの保全のための取り組みについて書かれた文章を読み、話の展開や意図・概要・詳細を捉えている。 	
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・固定種の利点についてF1種と比較しながら、情報や自分の考えを詳しく話したり、書いたりして、伝えようとしている。 ・固定種の利点についてF1種と比較しながら、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝えあうやり取りをしようとしている。 	
<p>Lesson 5 Language Change over Time</p>	<p>〈聞くこと〉英語からの借用語のうち、本来の意味とは異なる意味で日本語として使われているものについて話されている対話から必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。</p> <p>〈読むこと〉時間とともに変化する言葉について書かれた文章を読み、感想・意見・理由などを尋ねる疑問詞で始まる疑問文、同格のthatの意味や構造を理解する。また文章から必要な情報を読み取り、要点や詳細を把握する。</p> <p>〈話すこと [やり取り]〉日本語として使用されている英語の中から単語の一つを選び、その単語の元々の意味と日本語での使われ方について、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。</p> <p>〈話すこと [発表]〉英語または日本語にける言葉の変化の実例について、情報や考えを論理性に注意し</p>	知	<ul style="list-style-type: none"> ・時間とともに変化する言葉について書かれた文章を読み、感想・意見・理由などを尋ねる疑問詞で始まる疑問文、同格のthatの意味や構造を理解している。また文章から必要な情報を読み取り、要点を把握している。 	2学期 中間 考査
		思	<ul style="list-style-type: none"> ・時間とともに変化する言葉について書かれた文章を読み、話の展開や意図・概要・詳細を捉えている。 	
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語として使用されている英語の中から単語の一つを選び、その単語の元々の意味と日本語での使われ方について、情報や自分の考えを詳しく話したり、書いたりして、伝えようとしている。 ・英語または日本語にける言葉の変化の実例について、情報や考えを論理性に注意して詳しく話して伝えあうやり取りをしようとしている。 	

	<p>て詳しく話して伝える。</p> <p>〈書くこと〉英語または日本語における言葉の変化の実例について、情報や考えを論理性に注意して文章で詳しく書いて伝える。</p>			
Lesson 6 Gaudi and His Messenger	<p>〈聞くこと〉「外尾悦郎さんから今日の日本へ」というテーマのスピーチから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。</p> <p>〈読むこと〉ガウディと外尾悦郎さんについて書かれた文章を読み、受動態の分詞構文やifを使わない仮定法の意味や構造を理解する。また文章から必要な情報を聞き取り、要点や詳細を把握する。</p> <p>〈話すこと [やり取り]〉今後十年における観光者数の推移について、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。</p> <p>〈話すこと [発表]〉ガウディ、もしくは外尾悦郎さんについて、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。</p> <p>〈書くこと〉ガウディ、もしくは外尾悦郎さんについて、情報や自分の考えを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝える。</p>	知 思 主	<ul style="list-style-type: none"> ・ガウディと外尾悦郎さんについて書かれた文章を読み、受動態の分詞構文やifを使わない仮定法の意味や構造を理解している。また文章から必要な情報を聞き取り、要点を把握している。 ・ガウディと外尾悦郎さんについて書かれた文章を読み、話の展開や意図・概要・詳細を捉えている。 ・今後十年における観光者数の推移について、情報や自分の考えを詳しく話したり、書いたりして、伝えようとしている。 ・ガウディ、もしくは外尾悦郎さんについて、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝えようやりとりをしようとしている。 	2学期 中間 考查
Lesson 7 Letters from a Battlefield	<p>〈聞くこと〉『戦場からの手紙』を読んだ感想についてのスピーチから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。</p> <p>〈読むこと〉戦場からの手紙について書かれた文章から必要な情報を読み、副詞節を導く複合関係代名詞や完了不定詞の意味や働きを理解する。また文章から必要な情報を読み取り、要点や詳細を把握する。</p> <p>〈話すこと [やり取り]〉自分にとって特別な人に向けて書いた手紙の内容について、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。</p> <p>〈話すこと [発表]〉戦場からの手紙について書かれた文章を読んだ感想について、自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。</p> <p>〈書くこと〉自分にとって特別な人に伝えたいことについて、情報や自分の気持ちを論理性に注意して複数の段落から成る文章で手紙に書いて伝える。</p>	知 思 主	<ul style="list-style-type: none"> ・戦場からの手紙について書かれた文章から必要な情報を読み、副詞節を導く複合関係代名詞や完了不定詞の意味や働きを理解している。また文章から必要な情報を読み取り、要点を把握している。 ・戦場からの手紙について書かれた文章から必要な情報を読み、話の展開や意図・概要・詳細を捉えている。 ・自分にとって特別な人に向けて書いた手紙の内容について、情報や自分の考えを詳しく話したり、書いたりして、伝えようとしている。 ・戦場からの手紙について書かれた文章を読んだ感想について、自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝えようやりとりをしようとしている。 	2学期 期末 考查
Lesson 8 Edo: A Sustainable Society	<p>〈聞くこと〉「もったいない」の考え方について話されている対話から必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。</p> <p>〈読むこと〉江戸時代の持続可能な社会について書かれた文章を読み、注意すべき関係代名詞の用法や独立分詞構文の意味や働きを理解する。また文章から必要な情報を読み取り、要点や詳細を把握する。</p> <p>〈話すこと [やり取り]〉日常生活の中で「もったいない」と思うことについて、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。</p> <p>〈話すこと [発表]〉製品の再利用の具体例について、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。</p> <p>〈書くこと〉日常生活の中で「もったいない」と思うことについて、情報や自分の考えを論理性に注意して複数の段落から成る文章で手紙に書いて伝える。</p>	知 思 主	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代の持続可能な社会について書かれた文章を読み、注意すべき関係代名詞の用法や独立分詞構文の意味や働きを理解している。また文章から必要な情報を読み取り、要点を把握している。 ・江戸時代の持続可能な社会について書かれた文章を読み、話の展開や意図・概要・詳細を捉えている。 ・日常生活の中で「もったいない」と思うことについて、情報や自分の考えを詳しく話したり、書いたりして、伝えようとしている。 ・製品の再利用の具体例について、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝えようやりとりをしようとしている。 	
Lesson 9 Biodiesel Adventure: From Global to Global	<p>〈聞くこと〉山田周生さんへのインタビューから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。</p> <p>〈読むこと〉山田周生さんの取り組みについて書かれた文章を読み、完了形の分詞構文や強調構文の意味や働きを理解している。</p>	知	<ul style="list-style-type: none"> ・山田周生さんの取り組みについて書かれた文章を読み、完了形の分詞構文や強調構文の意味や働きを理解している。また文章から必要な情報を読み取り、要点を把握している。 	

	<p>味や働きを理解する。また文章から必要な情報を読み取り、要点や詳細を把握する。</p> <p>〈話すこと [やり取り]〉日本のエネルギー消費における問題点とその解決策について、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。</p> <p>〈話すこと [発表]〉山田周生さんの意見に対する自分の考えを、論理性に注意して詳しく話して伝える。</p> <p>〈書くこと〉山田周生さんの意見に対する自分の考えを、論理性に注意して複数の段落から成る文章に書いて伝える。</p>	<p>思</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山田周生さんの取り組みについて書かれた文章を読み、話の展開や意図・概要・詳細を捉えている。 <p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本のエネルギー消費における問題点とその解決策について、情報や自分の考えを詳しく話したり、書いたりして、伝えようとしている。 ・山田周生さんの意見に対する自分の考えを、論理性に注意して詳しく話して伝えあうやりとりをしようとしている。 	<p>3 学 期 学 年 末 考 査</p>
<p>Lesson 10 Our Future with AI</p>	<p>〈聞くこと〉AIと今後の将来について話されている対話から必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。</p> <p>〈読むこと〉AIとその活用について書かれた文章を読み、過去についての推量やas ifを使った仮定法の意味や働きを理解する。また文章から必要な情報を読み取り、要点や詳細を把握する。</p> <p>〈話すこと [やり取り]〉人間とAIの共存のためにどのような法律が必要か、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。</p> <p>〈話すこと [発表]〉人間とAIの共存のためにどのような法律が必要か、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。</p> <p>〈書くこと〉AIと今後の将来について、情報や自分の考えを論理性に注意して複数の段落から成る文章で手紙に書いて伝える。</p>	<p>知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIとその活用について書かれた文章を読み、過去についての推量やas ifを使った仮定法の意味や働きを理解している。また文章から必要な情報を読み取り、要点を把握している。 <p>思</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIとその活用について書かれた文章を読み、話の展開や意図・概要・詳細を捉えている。 <p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間とAIの共存のためにどのような法律が必要か、情報や自分の考えを詳しく話したり、書いたりして、伝えようとしている。 ・人間とAIの共存のためにどのような法律が必要か、情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝えあうやりとりをしようとしている。 	
<p>Reading 2 Gender Equality Is Your Issue, Too</p>	<p>〈読むこと〉ジェンダーと平等についてのスピーチから必要な情報を読み取り、要点や詳細を把握する。</p> <p>〈話すこと [やり取り]〉日本におけるジェンダーと平等の現状について10年間の間でどの程度改善されたか、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。</p>	<p>知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーと平等についてのスピーチから必要な情報を読み取り、要点を把握している。 <p>思</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーと平等についてのスピーチから必要な情報を読み、話の展開や意図・概要・詳細を捉えている。 <p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本におけるジェンダーと平等の現状について 10 年間の間でどの程度改善されたか、情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやりとりをしようとしている。 	

教科	英語	履修学年	2 学年	教科書 (出版社)	Genius English Logic and Expression II
科目	論理・表現 II	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	Genius 総合英語 英語の構文 80
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

<p>1. コミュニケーションを支えるものとしての文法の形式・意味・機能に習熟し、必要な場面で適切な文法形式を用いて正しく表現することができる。</p> <p>2. 日常的な話題や社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話して伝えること、伝え合うこと、文章で書いて伝えることができる。</p> <p>3. 大学受験に向けて、英語の基本的な構文、文法および語法について習得する。</p>	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項、対話の展開のしかたや論理構成、パラグラフの展開の仕方について理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、一定の支援を活用すれば、日常的な話題や社会的な話題について、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う、また、聞いたり読んだりしたことを基に、意見や主張などを論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話して伝え合い、書くことのできる技能を身につけている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、多様な語句や文を用いて、論理の展開や構成を工夫しながら詳しく口頭で話して伝え合い、書いて表現することもできる。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、多様な語句や文を用いて、論理の展開や構成を工夫しながら詳しく口頭で話して伝え、伝え合おうとし、書いて伝えようとしている。</p> <p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて口頭で話して伝え、伝え合おうとし、書いて伝えようとしている。</p>

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準	時期 考查		
Part I Unit 1 What Country Do You Want to Go To?	<p>[言語材料] 漠然と「人々」を表す we, you など、非人称/形式主語の it, there構文</p> <p>[言語活動]</p> <p>1. 行きたい国についてペアでやり取りをし、そのやり取りを基に英文を書く。2. 訪れてみたい国について述べている文章を読む、または聞く。</p>	知	<p>英語の語順、漠然と「人々」を表す we, you など、非人称/形式主語の it, there構文の特徴やきまりについて理解している。漠然と「人々」を表す we, you など、非人称/形式主語の it, there構文を用い、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。</p>	一学期 中間 考查	
		思			漠然と「人々」を表す we, you など、非人称/形式主語の it, there構文などを用い、行きたい国について、その国の説明や行きたい理由を交えて、情報を整理して50語以上で書いている。
		主			漠然と「人々」を表す we, you など、非人称/形式主語の it, there構文などを用い、行きたい国について、その国の説明や行きたい理由を交えて、情報を整理して50語以上で書こうとしている。
Unit 2 Book Report	<p>[言語材料] 受動態、無生物主語</p> <p>[言語活動]</p> <p>1. おすすめの本についてペアでやり取りをし、そのやり取りを基に英文を書く。2. 読んだ本について述べている文章を読む、または聞く。</p>	知	<p>受動態、無生物主語の特徴やきまりについて理解している。おすすめの本について、受動態、無生物主語を用い、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。</p>	一学期 中間 考查	
		思			受動態、無生物主語などを用い、おすすめの本について、本の内容やすすめる理由、その本から学べることを交えて、情報を整理して50語以上で書いている。
		主			受動態、無生物主語などを用い、おすすめの本について、本の内容やすすめる理由、その本から学べることを交えて、情報を整理して50語以上で書こうとしている。
Unit 3 What News Are You Most Interested In?	<p>[言語材料] 現在時制・過去時制、未来を表す表現、進行形、完了形</p> <p>[言語活動]</p> <p>1. 気になるニュースについてペアでやり取りをし、そのやり取りを基に英文を書く。2. もっとも関心のあるニュースについて述べている文章を読む、または聞く。</p>	知	<p>現在時制・過去時制、未来を表す表現、進行形、完了形の特徴やきまりについて理解している。気になるニュースについて、現在時制・過去時制、未来を表す表現、進行形、完了形を用い、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。</p>	一学期 中間 考查	
		思			現在時制・過去時制、未来を表す表現、進行形、完了形などを用い、気になるニュースについて、そのニュースの主旨やニュースから学べることを交えて、情報を整理して50語以上で書いている。

		主	現在時制・過去時制, 未来を表す表現, 進行形, 完了形などを用い, 気になるニュースについて, そのニュースの主旨やニュースから学べることを交えて, 情報を整理して50語以上で書こうとしている。	
Unit 4 What Do You Think about Sports?	[言語材料] 不定詞 (名詞的用法), 動名詞, 名詞節を導く接続詞, 名詞節を導く疑問詞 [言語活動] 1. スポーツについてペアで意見交換をし, そのやり取りを基に英文を書く。2. スポーツに対する意見を述べている文章を読む, または聞く。	知	不定詞 (名詞的用法), 動名詞, 名詞節を導く接続詞, 名詞節を導く疑問詞の特徴やきまりについて理解している。スポーツに対する意見を, 不定詞 (名詞的用法), 動名詞, 名詞節を導く接続詞, 名詞節を導く疑問詞を用い, 論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。	
		思	不定詞 (名詞的用法), 動名詞, 名詞節を導く接続詞, 名詞節を導く疑問詞などを用い, スポーツに対する意見を, 理由や具体例を交えて, 50語以上で書いている。	
		主	不定詞 (名詞的用法), 動名詞, 名詞節を導く接続詞, 名詞節を導く疑問詞などを用い, スポーツに対する意見を, 理由や具体例を交えて, 50語以上で書こうとしている。	
Unit 5 Must-Try Local Foods	[言語材料] 分詞, 関係詞, 不定詞 (形容詞的用法) [言語活動] 1. おすすめの地元の料理についてペアでやり取りをし, そのやり取りを基に英文を書く。2. 大好きな日本食について述べている文章を読む, または聞く。	知	分詞, 関係詞, 不定詞 (形容詞的用法) の特徴やきまりについて理解している。おすすめの地元の料理について, 分詞, 関係詞, 不定詞 (形容詞的用法) を用い, 論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。	
		思	分詞, 関係詞, 不定詞 (形容詞的用法) などを用い, おすすめの地元の料理について, その料理の説明を交えて, 情報を整理して50語以上で書いている。	
		主	分詞, 関係詞, 不定詞 (形容詞的用法) などを用い, おすすめの地元の料理について, その料理の説明を交えて, 情報を整理して50語以上で書こうとしている。	
Unit 6 Letter of Encouragement	[言語材料] 意志・推量・義務・必要性を表す助動詞 [言語活動] 1. 励ましたい相手とその人の悩みについてペアでやり取りをし, そのやり取りを基に英文を書く。2. 友人に向けて励ましのことばを述べている文章を読む, または聞く。	知	意志・推量・義務・必要性を表す助動詞の特徴やきまりについて理解している。意志・推量・義務・必要性を表す助動詞を用い, 論理の展開や構成を工夫して励ましの手紙を書いて伝える技能を身につけている。	
		思	意志・推量・義務・必要性を表す助動詞などを用い, 励ましの手紙を, 相手の悩みやそれに対するメッセージを交えて, 50語以上で書いている。	
		主	意志・推量・義務・必要性を表す助動詞などを用い, 励ましの手紙を, 相手の悩みやそれに対するメッセージを交えて, 50語以上で書こうとしている。	
Part II Unit 1 What Makes You Happy	[表現形式] 「列挙」のバラグラフ [言語材料] 列挙する表現, 比較を表す構文 [言語活動] 1. トピックに関連するリスニングと, 質問に答える。2. 自分を幸せにするものについて述べられた文章を読む, または聞く。3. 本当の幸せについて, ペアでやり取りする。4. 幸せを感じる時についてのさまざまな意見を聞き, ペアで意見交換する。また, 質問に対する自分自身の考えを述べる。5. 自分を幸せにするもの／ことについてのバラグラフを書く。	知	「列挙」のバラグラフの論理構成について理解している。自分を幸せにするもの／ことについて, 列挙する表現や比較を表す構文を用い, 論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。	一学期 期末 考查
		思	自分を幸せにするもの／ことについて, 列挙する表現や比較を表す構文などを用い, 具体的な説明や理由を交えて, 100語以上のバラグラフを書いている。	
		主	自分を幸せにするもの／ことについて, 列挙する表現や比較を表す構文などを用い, 具体的な説明や理由を交えて, 100語以上のバラグラフを書こうとしている。	
Unit 2 Does Technology Make Our Lives Better?	[表現形式] 「例示」のバラグラフ [言語材料] 例をあげる表現, 程度の差や変化を表す構文 [言語活動] 1. トピックに関連するリスニングと, 質問に答える。2. 科学技術と生活の関連性について述べられた文章を読む, または聞く。3. スマートフォンが高齢者に対しどのように役立つかについて, ペアでやり取りする。4. 科学技術は生活を良くするかについてのさまざまな考えを聞き, ペアで意見交換する。また, 質問に対する自分自身の考えを述べる。5. 科学技術と生活について意見を述べるバラグラフを書く。	知	「例示」のバラグラフの論理構成について理解している。科学技術と生活について, 例をあげる表現や程度の差や変化を表す構文を用い, 論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。	一学期 期末 考查
		思	科学技術と生活について, 例をあげる表現や程度の差や変化を表す構文などを用い, 具体例や説明を交えて, 100語以上のバラグラフを書いている。	
		主	科学技術と生活について, 例をあげる表現や程度の差や変化を表す構文などを用い, 具体例や説明を交えて, 100語以上のバラグラフを書こうとしている。	
Unit 3 My Personal	[表現形式] 「時系列・順序」のバラグラフ [言語材料] 順序立てて述べる表現, 時を表す構文	知	「時系列・順序」のバラグラフの論理構成について理解している。自分自身のこれまでについて, 順序立てて述べる表現や時を表す	

<p>History</p>	<p>[言語活動]</p> <p>1. トピックに関連するリスニングと、質問に答える。 2. 部活に所属することについて述べられた文章を読む、または聞く。3. 有名人の経歴から学べることに ついて、ペアでやり取りする。4. 人生におけるさまざまな変化について聞き、ペアで意見交換する。また、質問に対する自分自身の考えを述べる。5. 自分自身のこれまでを振り返るパラグラフを書く。</p>	<p>構文を用い、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。</p> <p>思 自分自身のこれまでについて、順序立てて述べる表現や時を表す構文などを用い、成長の過程や変化を交えて、100語以上のパラグラフを書いている。</p> <p>主 自分自身のこれまでについて、順序立てて述べる表現や時を表す構文などを用い、成長の過程や変化を交えて、100語以上のパラグラフを書こうとしている。</p>	
<p>Unit 4 City or Country?</p>	<p>[表現形式] 「比較・対照」のパラグラフ [言語材料] 対比・対照する表現、類似を示す表現、譲歩を表す構文 [言語活動]</p> <p>1. トピックに関連するリスニングと、質問に答える。 2. 科学技術と生活の関連性について述べられた文章を読む、または聞く。3. 都会と田舎のどちらが住みやすいかについて、ペアでやり取りする。4. 都会と田舎、それぞれの生活についての意見を聞き、ペアで意見交換する。また、質問に対する自分自身の考えを述べる。 5. 都会と田舎を対比するパラグラフを書く。</p>	<p>知 「比較・対照」のパラグラフの論理構成について理解している。都会と田舎のどちらに住むべきかについて、対比・対照する表現や類似を示す表現、譲歩を表す構文を用い、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。</p> <p>思 都会と田舎のどちらに住むべきかについて、対比・対照する表現や類似を示す表現、譲歩を表す構文などを用い、説得力のあるポイントを交えて、100語以上のパラグラフを書いている。</p> <p>主 都会と田舎のどちらに住むべきかについて、対比・対照する表現や類似を示す表現、譲歩を表す構文などを用い、説得力のあるポイントを交えて、100語以上のパラグラフを書こうとしている。</p>	
<p>Unit 5 Environmental Problems</p>	<p>[表現形式] 「因果関係」のパラグラフ [言語材料] 結果を導く表現、原因を述べる表現、目的を表す構文 [言語活動]</p> <p>1. トピックに関連するリスニングと、質問に答える。 2. 地球温暖化について述べられた文章を読む、または聞く。3. 地球温暖化が及ぼす影響について、ペアでやり取りする。4. もっとも関心のある環境問題についてのそれぞれの意見を聞き、ペアで意見交換する。また、質問に対する自分自身の考えを述べる。5. 環境問題とその解決策についてのパラグラフを書く。</p>	<p>知 「因果関係」のパラグラフの論理構成について理解している。環境問題とその解決策について、結果を導く表現や原因を述べる表現、目的を表す構文を用い、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。</p> <p>思 環境問題とその解決策について、結果を導く表現や原因を述べる表現、目的を表す構文などを用い、説得力のある説明を交えて、100語以上のパラグラフを書いている。</p> <p>主 環境問題とその解決策について、結果を導く表現や原因を述べる表現、目的を表す構文などを用い、説得力のある説明を交えて、100語以上のパラグラフを書こうとしている。</p>	
<p>Part III Unit 1 One Small Action</p>	<p>[表現形式] スピーチ [言語材料] 話題を切り出す表現、関心を引く表現、次の話題に移る表現 [言語活動]</p> <p>1. トピックに関連するリスニングと、質問に答える。 2. 社会貢献活動に参加した経験について述べられた文章を読む、または聞く。3. 日常生活におけるちょっとした行動についてのスピーチを聞き、スピーチやその後の質疑応答の練習をする。4. 社会をより良くするための行動についてスピーチする。</p>	<p>知 論理的なスピーチの展開方法について理解している。社会をより良くするための行動について、話題を切り出す表現や関心を引く表現、次の話題に移る表現を用い、論理の展開や構成を工夫して話して伝える技能を身につけている。</p> <p>思 社会をより良くするための行動について、話題を切り出す表現や関心を引く表現、次の話題に移る表現などを用い、具体例を交えて、聴衆に伝わるようにスピーチしている。</p> <p>主 社会をより良くするための行動について、話題を切り出す表現や関心を引く表現、次の話題に移る表現などを用い、具体例を交えて、スピーチしようとしている。</p>	
<p>Unit 2 Creating Something New In Empty Spaces</p>	<p>[表現形式] プレゼンテーション [言語材料] 焦点を1つに絞る表現、資料に注意を向ける表現、自分の考えを述べる表現 [言語活動]</p> <p>1. トピックに関連するリスニングと、質問に答える。 2. 空き家の有効活用について述べられた文章を読む、または聞く。3. 空き店舗・空きビルについてのプレゼンテーションを聞き、スライドを使ったプレゼンテーションの練習をする。4. 空きスペースの有効な活用法についてプレゼンテーションする。</p>	<p>知 論理的なプレゼンテーションの展開方法について理解している。空きスペースの有効な活用法について、焦点を1つに絞る表現や資料に注意を向ける表現、自分の考えを述べる表現を用い、論理の展開や構成を工夫して話して伝える技能を身につけている。</p> <p>思 空きスペースの有効な活用法について、焦点を1つに絞る表現や資料に注意を向ける表現、自分の考えを述べる表現などを用い、具体例を交えて、視覚資料を効果的に用いながら、聴衆に伝わるようにプレゼンテーションしている。</p> <p>主 空きスペースの有効な活用法について、焦点を1つに絞る表現や資料に注意を向ける表現、自分の考えを述べる表現などを用い、具体例を交えて、視覚資料を効果的に用いながらプレゼンテーションしようとしている。</p>	
<p>Unit 3 Making Your Hometown Special</p>	<p>[表現形式] グループプレゼンテーション [言語材料] 引用する表現、グラフを説明する表現、話をまとめる表現 [言語活動]</p>	<p>知 論理的なプレゼンテーションの展開方法について理解している。地元や住んでいる地域のまちづくりについて、引用する表現やグラフを説明する表現、話をまとめる表現を用い、論理の展開や構成を工夫して話して伝える技能を身につけている。</p>	<p>二 学 期</p>

二
学
期

中
間
考
査

	<p>1. トピックに関連するリスニングと、質問に答える。</p> <p>2. 自分たちのまちについて述べられた文章を読む、または聞く。3. 自分たちのまちの将来についてのプレゼンテーションを聞き、それ用のスライドをつくったり、質疑応答の練習をする。4. 地元や住んでいる地域のまちづくりについてグループでプレゼンテーションする。</p>	<p>思</p> <p>地元や住んでいる地域のまちづくりについて、引用する表現やグラフを説明する表現、話をまとめる表現などを用い、具体例を交えて、視覚資料を効果的に用いながら、聴衆に伝わるようにグループでプレゼンテーションしている。</p>	期末 考 査
		<p>主</p> <p>地元や住んでいる地域のまちづくりについて、引用する表現やグラフを説明する表現、話をまとめる表現などを用い、具体例を交えて、視覚資料を効果的に用いながらグループでプレゼンテーションしようとしている。</p>	
<p>Part IV</p> <p>Unit 1</p> <p>Should Every Student be in a Club?</p>	<p>[表現形式] ビンポンディベート</p> <p>[言語材料] 他の意見に理解を示しつつ自分の意見を主張する表現、他の主張を引用する表現</p> <p>[言語活動]</p> <p>1. トピックに関連するリスニングと、質問に答える。</p> <p>2. 部活に所属することについてやり取りしている文章を読む、または聞く。3. 学校にはなぜさまざまな部活があるのかについて、ペアでやり取りする。4. 高校生の自由時間についてさまざまな考えを聞き、ペアで意見交換する。また、ビンポンディベートの練習をする。5. 全員部活に入るべきかについてビンポンディベートを行う。</p>	<p>知</p> <p>ビンポンディベートの形式について理解している。全員部活に入るべきかについて、他の意見に理解を示しつつ自分の意見を主張する表現や他の主張を引用する表現を用い、論理の展開や構成を工夫して話し合っている。</p>	
		<p>思</p> <p>全員部活に入るべきかについて、他の意見に理解を示しつつ自分の意見を主張する表現や他の主張を引用する表現などを用い、具体例や説明を交えて、ビンポンディベートを5分間行っている。</p>	
		<p>主</p> <p>全員部活に入るべきかについて、他の意見に理解を示しつつ自分の意見を主張する表現や他の主張を引用する表現などを用い、具体例や説明を交えて、ビンポンディベートを5分間行おうとしている。</p>	
<p>Unit 2</p> <p>Should All Zoos be Banned?</p>	<p>[表現形式] ディベート (準備型)</p> <p>[言語材料] これまでに学んだ表現</p> <p>[言語活動]</p> <p>1. トピックに関連するリスニングと、質問に答える。</p> <p>2. 動物園の廃止についてディベートしている文章を読む、または聞く。3. 動物園の是非/エコツアーについてディベートを行う。</p>	<p>知</p> <p>ディベート (準備型) の形式について理解している。動物園の是非やエコツアーについて、これまでに学んだ表現を用い、論理の展開や構成を工夫して話し合っている。</p>	
		<p>思</p> <p>動物園の是非やエコツアーについて、これまでに学んだ表現を用い、根拠や具体例を交えて、立論・反論・総括を論理的に組み立ててディベートを行っている。</p>	
		<p>主</p> <p>動物園の是非やエコツアーについて、これまでに学んだ表現を用い、根拠や具体例を交えて、立論・反論・総括を論理的に組み立ててディベートを行おうとしている。</p>	
<p>Unit 3</p> <p>Should Students Study Abroad?</p>	<p>[表現形式] ディスカッション</p> <p>[言語材料] 議論を進行する表現、発言を促す表現、意見をまとめる表現</p> <p>[言語活動]</p> <p>1. トピックに関連するリスニングと、質問に答える。</p> <p>2. 留学の是非についてやり取りしている文章を読む、または聞く。3. 留学の利点と欠点について、ペアでやり取りする。4. 日本の高校は留学生をもっと受け入れるべきかについてのさまざまな考えを聞き、ペアで意見交換する。また、ディスカッションの練習をする。</p> <p>4. 生徒は留学/ボランティア活動をすべきかについてディスカッションを行う。</p>	<p>知</p> <p>ディスカッションの論理構成について理解している。留学やボランティア活動の是非について、議論を進行する表現や発言を促す表現、意見をまとめる表現を用い、論理の展開や構成を工夫して話し合っている。</p>	
		<p>思</p> <p>留学やボランティア活動の是非について、議論を進行する表現や発言を促す表現、意見をまとめる表現を用い、理由や具体例を交えて、論理的にディスカッションを行っている。</p>	
		<p>主</p> <p>留学やボランティア活動の是非について、議論を進行する表現や発言を促す表現、意見をまとめる表現を用い、理由や具体例を交えて、ディスカッションを行おうとしている。</p>	
<p>Part V</p> <p>Unit 1</p> <p>What's Going on at School</p>	<p>[表現形式] 描写文</p> <p>[言語材料] これまでに学んだ表現</p> <p>[言語活動]</p> <p>1. トピックに関連するリスニングと、質問に答える。</p> <p>2. 最近あったイベントについて報告する文章を読む、または聞く。3. 最近の学校での出来事についてのエッセイ (複数のパラグラフから成る文章) を書く。</p>	<p>知</p> <p>描写文の論理構成について理解している。最近の学校での出来事について、これまでに学んだ表現を用い、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。</p>	学年 末 考 査
		<p>思</p> <p>最近の学校での出来事について、これまでに学んだ表現を用い、読み手がわかりやすいよう詳しい描写を交えて、論理の展開や構成を工夫して3つ以上のパラグラフで書いている。</p>	
		<p>主</p> <p>最近の学校での出来事について、これまでに学んだ表現を用い、読み手がわかりやすいよう詳しい描写を交えて、論理の展開や構成を工夫して3つ以上のパラグラフで書こうとしている。</p>	
<p>Unit 2</p> <p>What to Preserve for Future Generations</p>	<p>[表現形式] 説明文</p> <p>[言語材料] これまでに学んだ表現</p> <p>[言語活動]</p> <p>1. トピックに関連するリスニングと、質問に答える。</p> <p>2. 未来に遺すべきものについて述べている文章を読む、または聞く。3. 未来の世代に遺すべきものについて</p>	<p>知</p> <p>説明文の論理構成について理解している。未来の世代に遺すべきものについて、これまでに学んだ表現を用い、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。</p>	
		<p>思</p> <p>未来の世代に遺すべきものについて、これまでに学んだ表現を用い、読み手がわかりやすいよう理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して3つ以上のパラグラフで書いている。</p>	

	<p>てのエッセイ（複数のパラグラフから成る文章）を書く。</p>	主	<p>未来の世代に遺すべきものについて、これまでに学んだ表現を用い、読み手がわかりやすい理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して3つ以上のパラグラフで書こうとしている。</p>	
<p>Unit 3 Thinking about Education</p>	<p>[表現形式] 議論型文 [言語材料] これまでに学んだ表現 [言語活動]</p> <p>1. トピックに関連するリスニングと、質問に答える。 2. 最近あったイベントについて報告する文章を読む、または聞く。3. 教育についてのエッセイ（複数のパラグラフから成る文章）を書く。</p>	知	<p>議論型文の論理構成について理解している。教育について、これまでに学んだ表現を用い、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。</p>	
		思	<p>教育について、これまでに学んだ表現を用い、読み手がわかりやすい理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して3つ以上のパラグラフで書いている。</p>	
		主	<p>教育について、これまでに学んだ表現を用い、読み手がわかりやすい理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して3つ以上のパラグラフで書こうとしている。</p>	

<p>ホームプロジェクト 子どもと共に育つ 食生活をつくる 食事と栄養と食品 食品の選択と安全 調理の基礎 衣生活を作る 被服の役割 衣生活の文化と知恵 被服の入手 これからの衣生活 持続可能な社会と生活 経済生活</p>	<p>ホームプロジェクトについて知り、実践し自分の意見を文章にまとめる方法の習得。発表をすることで表現力を身につけ言語活動を充実させる。・子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解する。子どもが健やかに育つ社会について考え、社会の子育て支援についてその課題について理解しようとする。安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工食品、食中毒や食物アレルギーの知識を身に付ける。食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身に付ける。調理操作や加工により、美味しさが変化することを科学的にとらえる。私達が被服を着用するに至った社会的・文化的背景と被服の多様な機能について理解する。用途に合った着装を実践できるようになるため、被服の役割を理解する。現代に受け継がれる日本の伝統文化を受け継ぎ発展させるために日本の衣生活文化の変遷や知恵と技術について知り、日本の民族衣装としての和服や世界の民族衣装について理解する。被服は何からできているか知り、購入、着用、手入れ、保管、を知り、持続可能な衣生活について考える。</p>	<p>知</p> <p>ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解している。乳幼児の心身の発達と生活について理解する。親の役割と保育について理解している。子どもを取り巻く社会支援について理解している。食品の選択と安全や調理について理解している。被服の役割、衣生活の文化と知恵 被服の入手 これからの衣生活 持続可能な社会と生活について理解している。</p>	<p>2</p> <p>学期</p>
<p>子どもの生活 遊び 伝統文化 食生活の文化と知恵 経済生活を営む これからの生活を創造する。</p>	<p>子どもの発達や生活、遊びの意味を理解する。郷土食や行事食などの継承・創造するために日本の食文化の特徴を理解する。世界の食文化に関心を持ち、私たちの食生活への関心を持つ。生涯安定した経済生活を営めるように経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。消費者には権利と責任があることを理解する。消費者保護制度について理解する。家計をマネジメントする力をつける。人生の目標を考え、自分らしい幸福について考えリスク管理や生活設計ができるようになる。一人の主体者として、また他利や社会全体について考える。</p>	<p>思</p> <p>自身や家族の生活上の問題点を見出し、課題を設定し解決策を構想し実践するなど課題解決の力を身に付けている子供の健やかな発達のために家族や社会の果たす役割について課題を設定し解決策を模索し、実践を評価するなど論理的に表現し問題を解決する力を身に付けている。食品の調理上の性質について課題を設定し解決策を模索し、実践を評価するなど論理的に表現し問題を解決する力を身に付けている。被服の機能や快適性について課題を設定し解決策を模索し、実践を評価するなど論理的に表現し問題を解決する力を身に付けている。持続可能な社会を目指して主体的に行動できるように生活と消費について課題を設定し解決策を模索し、実践を評価するなど論理的に表現し問題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>期末</p> <p>考查</p>
<p>子どもの生活 遊び 伝統文化 食生活の文化と知恵 経済生活を営む これからの生活を創造する。</p>	<p>子どもの発達や生活、遊びの意味を理解する。郷土食や行事食などの継承・創造するために日本の食文化の特徴を理解する。世界の食文化に関心を持ち、私たちの食生活への関心を持つ。生涯安定した経済生活を営めるように経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。消費者には権利と責任があることを理解する。消費者保護制度について理解する。家計をマネジメントする力をつける。人生の目標を考え、自分らしい幸福について考えリスク管理や生活設計ができるようになる。一人の主体者として、また他利や社会全体について考える。</p>	<p>主</p> <p>様々な人々と協働しよりよい家庭生活や社会の構築に向けて課題解決に主体的に取り組んだり振り返りをしたり自身や家族、地域社会の生活の充実向上を図るために実践しようとしている</p>	<p>3</p> <p>学期</p>
<p>子どもの生活 遊び 伝統文化 食生活の文化と知恵 経済生活を営む これからの生活を創造する。</p>	<p>子どもの発達や生活、遊びの意味を理解する。郷土食や行事食などの継承・創造するために日本の食文化の特徴を理解する。世界の食文化に関心を持ち、私たちの食生活への関心を持つ。生涯安定した経済生活を営めるように経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。消費者には権利と責任があることを理解する。消費者保護制度について理解する。家計をマネジメントする力をつける。人生の目標を考え、自分らしい幸福について考えリスク管理や生活設計ができるようになる。一人の主体者として、また他利や社会全体について考える。</p>	<p>知</p> <p>日本の食文化や伝統について理解している。家計の構造や管理について理解している。消費者の権利と責任について契約の重要性を理解している。消費生活の現状と課題について理解している。</p>	<p>3</p> <p>学期</p>
<p>子どもの生活 遊び 伝統文化 食生活の文化と知恵 経済生活を営む これからの生活を創造する。</p>	<p>子どもの発達や生活、遊びの意味を理解する。郷土食や行事食などの継承・創造するために日本の食文化の特徴を理解する。世界の食文化に関心を持ち、私たちの食生活への関心を持つ。生涯安定した経済生活を営めるように経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。消費者には権利と責任があることを理解する。消費者保護制度について理解する。家計をマネジメントする力をつける。人生の目標を考え、自分らしい幸福について考えリスク管理や生活設計ができるようになる。一人の主体者として、また他利や社会全体について考える。</p>	<p>思</p> <p>食文化の継承や創造について課題を設定し解決策を模索し、実践を評価するなど論理的に表現し問題を解決する力を身に付けている。生涯を見通した生活における経済的管理や計画の重要性について課題を設定し解決策を模索し、実践を評価するなど論理的に表現し問題を解決する力を身に付けている。責任ある消費者として課題を設定し解決策を模索し、実践を評価するなど論理的に表現し問題を解決する力を身に付けている。生涯を見通した自己の生活について主体的に考え課題を設定し解決策を模索し、実践を評価するなど論理的に表現し問題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>3</p> <p>学期</p>
<p>子どもの生活 遊び 伝統文化 食生活の文化と知恵 経済生活を営む これからの生活を創造する。</p>	<p>子どもの発達や生活、遊びの意味を理解する。郷土食や行事食などの継承・創造するために日本の食文化の特徴を理解する。世界の食文化に関心を持ち、私たちの食生活への関心を持つ。生涯安定した経済生活を営めるように経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。消費者には権利と責任があることを理解する。消費者保護制度について理解する。家計をマネジメントする力をつける。人生の目標を考え、自分らしい幸福について考えリスク管理や生活設計ができるようになる。一人の主体者として、また他利や社会全体について考える。</p>	<p>主</p> <p>様々な人々と協働しよりよい伝統文化の継承、生活における経済の計画、消費行動と意思決定について、また生涯の生活設計について課題解決に向けて主体的に取り組んだり振り返りをしたり自身や家族、地域社会の生活の充実向上を図るために実践しようとしている</p>	<p>3</p> <p>学期</p>

令和6年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(2学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1学期	4	<地域探究Ⅰ> (1)探究学習ガイド ンス	(1)探究学習の目的・目標を再確認し、1年 間の学習内容と活動概要について説明 する。	<ul style="list-style-type: none"> ・調査分析した内 容について、助言 する。 ・生徒の取組意 欲、態度等につい て、評価を行う。 ・プレゼンテーシ ョンでは自己評価と ともに、他者評価 できるように評価シ ートを配布して記 入後回収する。 	2時間
	5	(2)地域課題を考 える	(2)多様な視点を用いて地域の課題を考え させ、探究テーマとしての「問い」を設定さ せる。		4時間
	6	(3)地域課題にア プローチする	(3)探究プロセスに沿って、地域課題に対 する解決方法を考察、情報収集、検証、まと め等をさせる。		4時間
	7	(4)クラス内発表	(4)発表に必要な資料作成および効果的 かつ分かりやすいプレゼンテーションを 実施させる。		2時間
2学期	9	<地域探究Ⅱ> (5)沖縄の文化・特 色・環境・平和につ いて知る	(5)沖縄の自然・歴史・文化・産業等の特色 や魅力について調べさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士の意見 交換及び質疑応 答を通して、自己 評価を行う。 ・調べたことをワー クシートにまとめ提 出させる。 ・プレゼンテーシ ョンでは自己評価と ともに、他者評価 できるように評価シ ートを配布して記 入後回収する。 	4時間
	10	(6)沖縄の地域文 化・国際問題・環境 課題を考える	(6)多様な視点を用いて、沖縄に関する 様々な課題を考えさせ、探究テーマとして の「問い」を設定させる。		2時間
	11	(7)設定した課題 にアプローチする	(7)探究プロセスに沿って、多様な視点 を取り入れながら沖縄の課題に対する解決 方法を考察、情報収集、検証、まとめ等 をさせる。		8時間
		①实地踏査計画 ②実施踏査・情報 収集 ③まとめ	①沖縄での实地踏査計画を立てさせる。 ②沖縄での实地踏査(インタビュー等の聴 き取り、資料収集、写真・動画等の撮影・ 記録など)を行わせる ③实地踏査結果を踏まえ、まとめ資料の作 成を行わせる		
12	(8)グループ発表	(8)各自設定した課題について、クラス内 でグループごとにパワーポイントで発表を 行わせ、クラス代表のグループを決定し、 学年発表を実施させる。			
3学期	1	<課題研究Ⅰ> (9)課題探究ガイ ダンス	(9)これまでの探究活動を振り返り、3年 次に向けて個別課題探究の進め方につい て説明する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の取組や意 欲、態度等につい て、助言を行う。 ・1年間の活動の 振り返りを発表さ せる。 	3時間
	2	(10)論文の書き方 を学ぶ	(10)3年次の課題探究に向けて、論文の 構成を理解させ基本的な書き方を理解さ せる。		3時間
	3	(11)課題探究テ ーマを設定する	(11)関心ある学問分野や志望進路を再 確認させ、その視点を切り口として社会 的課題を捉え、課題解決に向けた「問い」 =課題探究テーマを設定させる。		2時間
		(12)1年間の振り返 り	(12)1年間の振り返りを行い、3年 次の課題探究に向けた意識を高めさせ る。		1時間
配当時間数 の合計					35時間